

男女ハートフル共生プラン
～茂原市男女共同参画計画（第4次）～

令和3年度事業評価報告書

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会
茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

目次

- ◆ はじめに . . . 1
- ◆ 1. 茂原市男女共同参画計画（第4次）推進体制 . . . 1
- ◆ 2. 茂原市男女共同参画計画（第4次）の評価の方法 . . . 3
- ◆ 3. 事業評価スケジュール . . . 4
- ◆ 4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望
. . . 5
- ◆ 令和3年度事業一覧 . . . 6
- ◆ 事業評価シート No.1～48 . . . 9

はじめに

今日、少子高齢化が過去に例を見ないほどのスピードで進展し、また、市民生活を取り巻く社会経済環境は目まぐるしく変化しています。労働形態や家族形態も様変わりし、個々のライフスタイル・価値観も多様化しています。このような中、性別にとらわれずお互いを尊重し合い、一人ひとりが職場・家庭・地域等において責任と喜びを分かち合う「男女共同参画社会」の実現は、わが国における最重要課題の一つとされています。

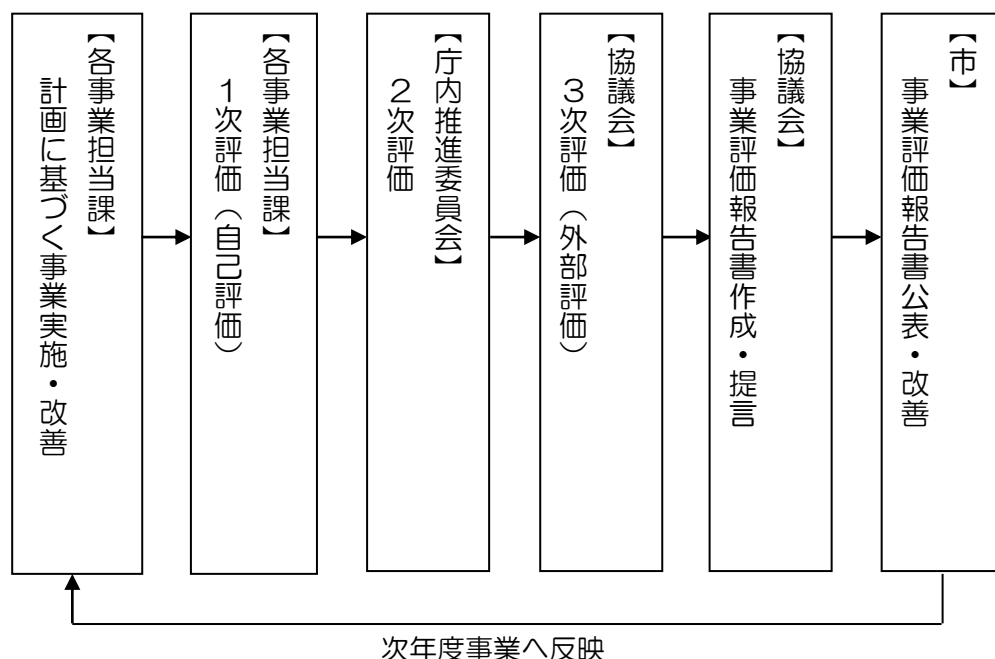
茂原市では、令和3年3月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第4次）～」を策定し、男女共同参画施策の推進に取り組んでおります。

計画の進行管理については、毎年度、事業の進捗状況について、担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（以下、「推進委員会」という）」による2次評価及び市民で構成される「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（以下、「協議会」という）」による3次評価（外部評価）を実施しています。外部評価を行うことにより、評価の透明性が確保され、市民目線も取り入れた男女共同参画施策がさらに効果的に推進されることが期待できます。

この「令和3年度 事業評価報告書」は、計画に掲げる施策を推進するため、プランに掲げた各事業の「実施結果及び次年度の取り組み」とともに推進委員会及び協議会が行った事業評価を一体的に掲載したものであり、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の取り組みに反映できるようにすることを目指し提言するものです。

1. 茂原市男女共同参画計画（第4次）推進体制

◆ 茂原市男女共同参画計画 推進体制連携図



◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」（庁内組織）１６名

茂原市男女共同参画計画（第４次）に基づく施策の進行管理と男女共同参画に関する意識啓発を行う、市役所内各部から男女１名ずつ選出された委員で構成される委員会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会委員＞

氏 名	所 属	役 職
堺谷 純子	総務部	
武田 光佑		
齋藤 理恵	企画財政部	
北田 裕司		委員長
大本 淳司	市民部	
岡澤 絵里香		
畠山 彩	福祉部	
井上 一平		
山西 久美子	経済環境部	
酒井 大樹		
板倉 里奈	都市建設部	
小関 裕也		
根本 亮子	教育部	
板倉 直人		
金網 邦彦	議会・農業委員会・選挙管理 委員会・監査委員 事務局	
簾尾 康子		副委員長

【任期１年：令和４年４月１日～令和５年３月３１日】

◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」（外部組織）９名

茂原市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の総合的推進を図る組織として市民で構成された協議会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員＞

氏 名	役 職	区 分
大塚 節子	会長	学識経験者
丸岡 一人	副会長	一般公募
関 洋子	委員	関係諸団体の代表者
原田 佑介	委員	関係諸団体の代表者
森川 礼子	委員	関係諸団体の代表者
及川 哲子	委員	一般公募
白土 和子	委員	一般公募
永沼 洋子	委員	一般公募
上村 俊一	委員	一般公募

【任期２年：令和３年４月１日～令和５年３月３１日】

2. 茂原市男女共同参画計画（第4次）の評価の方法

「茂原市男女共同参画計画（第4次）」では、男女共同参画を推進するため、市が取り組むべき事業として48事業を掲げ、34事業について指標（数値目標）を設けています。基本計画の進捗状況の評価にあたっては、事業担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織の「男女共同参画社会づくり推進委員会」による2次評価を行い、続いて、外部組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」が3次評価（外部評価）を行い、「令和3年度事業評価報告書」としてまとめました。

①評価の方法

評価者	判定区分
1次評価（総合評価） 【各事業担当課】 茂原市男女共同参画計画（第4次）に掲げられた事業について、「事業評価シート」により <u>1次評価（自己評価）</u> を実施 	【総合評価基準】 A：十分な成果を上げた （達成度8割以上） B：ある程度の成果を上げた （達成度4割～7割） C：事業の見直しが必要 （達成度3割以下）
2次評価（総合評価） 【茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会】 （市役所内組織） 全事業について、事業担当課から提出された「事業評価シート」により <u>2次評価</u> を実施 	【項目評価基準】 4：十分達成している （90%以上） 3：概ね達成されている （70%以上） 2：達成が半ばであり改善を要する （50%以上） 1：不十分である （50%未満）
3次評価（総合評価・項目評価） 【茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会】 （外部組織） 推進委員会の評価後、「事業評価シート」により <u>3次評価</u> を実施 	
事業評価報告書を作成し、市へ提出	

3. 事業評価スケジュール

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会

- ◆第1回（令和4年5月23日開催）
 - ・委員長、副委員長の選出
 - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
 - ・令和3年度事業評価
- ◆第2回（令和4年6月3日開催）
 - ・令和3年度事業評価

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

- ◆第1回（令和4年7月4日開催）
 - ・令和3年度事業評価
- ◆第2回（令和4年8月12日開催）
 - ・令和3年度事業評価
- ◆第3回（令和4年9月22日開催）
 - ・令和3年度事業評価
- ◆第4回（令和4年10月19日開催）
 - ・令和3年度事業評価
- ◆第5回（令和4年11月30日開催）
 - ・令和3年度事業評価
- ◆第6回（令和4年12月21日開催）
 - ・令和3年度事業評価
- ◆第7回（令和5年1月11日開催）
 - ・令和3年度事業評価

4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

(1) 事業評価結果と今後について

令和3年度は「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第4次）～」の初年度にあたり新しい計画に沿い積極的な事業の展開を期待しているところでした。しかし、令和元年度・2年度と新型コロナウイルスの感染が長引き、令和3年度も感染が終息することなく、多くの事業においてその達成が困難な状況にありました。一方、このような中でも工夫して出来ることを行い結果を出した事業も増えました。担当課の努力が実ってきています。反面、従来通りに進め結果を出せなかった事業も多くありました。

幸い令和3年度は災害による被害は少なく、行政、市民生活等に大きな影響はありませんでしたが、年々増加している災害や感染症等の影響も踏まえてさらなる事業の見直しが必要です。

令和3年度事業評価については、その結果を公表するとともに、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の各課の事業実施に反映するようにお願いします。

(2) 茂原市におけるさらなる男女共同参画の推進について

昨今、少子化問題が大きく取り上げられています。産院、保育所・学童保育の整備、教育に関する費用の格差問題等、様々です。その根底には、親となる人々の働く環境（賃金も含む）の改善、家庭での女性の負担軽減等が進まないことがあると思われます。

茂原市は平成16年に初めて茂原市男女共同参画計画（第1次）を策定し、順次計画の見直しに沿い、その実現に向けて行政面では少しずつ成果をあげてきました。さらなる推進のためには企業への両立支援、家事・育児は男女ともにするものという意識改革が必要です。そのためには行政はもとより企業や地域社会においてワークライフバランスへの推進に向けての取組が必要です。

(3) 「男女共同参画推進室」の設置について

「男女共同参画社会づくり」は21世紀わが国における最重要課題の一つです。SDGs（持続可能な開発目標）においても、「ジェンダー平等の実現」は世界が取り組むべき目標の一つとして掲げられています。茂原市においてもその実現のため行政と「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」と「ハートフルフェスタ実行委員会」による意識啓発のための講演会の開催などにより推進に努めてきました。ですが、国政同様に依然として政策立案・決定の場や、社会・家庭環境等で男性優位の傾向が見うけられます。

現在、コロナ禍の中、DV（家庭内暴力）や児童虐待等が増加し、貧困による女性問題の増加が大きな社会問題となっています。様々な相談が子育て支援課に集中することも懸念されます。これらの諸問題に対し男女共同参画の視点を持ち、関係する課が連携してスムーズに対処できるよう、各課を繋ぐ役割をする「男女共同参画推進室」の設置が必要です。

また、商業、農産業、福祉、子育て、防災等、多様な分野に係る課題について、対応・調整をするためにも「男女共同参画推進室」の設置が必要不可欠です。今まで手が届かなかった企業や事業所、教育現場、地域社会に向けた啓発活動の充実も図っていく必要があります。

「男女共同参画」を真に理解することにより社会や市民の意識も変わるはずで、早急に推進していくためにも「男女共同参画推進室」の設置を引き続き要望します。

令和3年度事業一覧

A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
B:ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）
C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

事業No.	事業名	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	C	C	C
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	C	C	C
3	多様な性のあり方に関する意識啓発の推進	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	B	B	B
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(2)相談体制の拡充	B	B	B
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(2)相談体制の拡充	A	A	A
6	男女共同参画に関する講演会や講座等の開催	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	C	C	C
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	A	A	A
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	B	C	B
9	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	子育て支援課	I 人権の尊重	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進	B	B	B
9	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	学校教育課	I 人権の尊重	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進	B	B	B
10	DV防止に関する意識啓発	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
11	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
12	障害者（児）の虐待防止	障害福祉課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	A
13	高齢者の虐待防止	高齢者支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	B
14	関係機関との連携の強化	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	B	B	B
15	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	企画政策課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	C	B	B
16	市女性職員の登用の推進	職員課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	B
17	市女性職員の活躍推進のための研修への参加機会の確保・拡大	職員課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	A	A
18	市民活動における男女共同参画の促進	生活課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-2 地域社会における男女共同参画	III-2(1)地域における男女共同参画の促進	B	B	B
19	父親の子育てに関する学習機会の提供	生涯学習課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	C	C	C
20	男性の家庭参画を促す講座等の実施	東部台文化会館	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	C	C	C
21	乳幼児相談・健診事業の充実	健康管理課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	A	A

事業 No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次 評価	2次 評価	3次 評価
22	子育て支援に関する情報提供	子育て 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	B	A	A
23	子育てに関する相談業務の充実	子育て 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	B	B	B
24	移動式赤ちゃん休憩室の貸出	生活課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	B	B	B
25	多様な働き方を支援するための保育 サービスの拡充	子育て 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	A	A	B
26	放課後等の子どもの居場所づくり	子育て 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援 の充実	A	A	A
27	高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(3)介護支援 の充実	A	A	A
28	認知症高齢者と家族等への支援の充実	高齢者 支援課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-3 家庭にお ける男女共同参画	Ⅲ-3(3)介護支援 の充実	A	A	B
29	市民へのワーク・ライフ・バランスの 推進	企画政 策課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ラ イフ・バランスの推 進	B	B	B
30	事業所へのワーク・ライフ・バランス の推進	商工観 光課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ラ イフ・バランスの推 進	C	C	C
31	市職員へのワーク・ライフ・バランス の推進	職員課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ラ イフ・バランスの推 進	B	B	B
32	男女雇用機会均等や育児・介護休業に 係る法制度の周知とポジティブ・アク ション（積極的改善措置）の促進	商工観 光課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(2)雇用機会の 均等と職場環境の整 備・改善	B	B	B
33	就労を希望する女性の再チャレンジ支 援	商工観 光課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(2)雇用機会の 均等と職場環境の整 備・改善	B	B	B
34	農業における女性グループ活動の支援 と女性起業家の育成	農政課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(4)農業・自営 業等における男女共 同参画の促進	B	C	C
35	農業における家族経営協定締結の促進	農政課	Ⅲ さまざまな分野における男 女共同参画	Ⅲ-4 労働の場 における男女共同参画	Ⅲ-4(4)農業・自営 業等における男女共 同参画の促進	C	C	C
36	高齢者の自主活動への支援	高齢者 支援課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障 害者施策の充実	B	B	B
37	障害者（児）の地域生活支援の充実	障害福祉 課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障 害者施策の充実	A	A	B
38	障害者（児）の相談事業の充実及び社 会復帰の促進	障害福祉 課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障 害者施策の充実	A	A	A
39	精神保健相談の実施及び社会復帰の支 援	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障 害者施策の充実	B	B	B
40	男女共同参画の視点を取り入れた防災 対策の充実	防災対 策課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯 における男女共同参 画の促進	A	A	B
41	自主防災組織の育成	防災対 策課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯 における男女共同参 画の促進	B	C	B
42	地域防犯体制の充実	生活課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-1 安心して活 動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯 における男女共同参 画の促進	A	B	B
43	自らの健康を自ら管理する意識づくり についての啓発	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じ た健康支援	B	B	B
44	人生の各段階に応じた健康相談と家庭 訪問の実施	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じ た健康支援	B	B	B
45	市民参加の健康づくりの推進	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じ た健康支援	B	B	B
46	スポーツを通じての健康増進	体育課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ-2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じ た健康支援	B	B	B

事業 No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次 評価	2次 評価	3次 評価
47	安心して妊娠・出産するための支援	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ－2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ－2(2)安心して妊 娠・出産できる環境 づくり	B	A	A
48	妊娠期の健康管理・育児に関する学習 機会の提供	健康管 理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環 境づくり	Ⅳ－2 健やかに安 心して暮らせる環境 の整備	Ⅳ－2(2)安心して妊 娠・出産できる環境 づくり	B	A	B

	1次 評価	2次 評価	3次 評価
A 十分な成果を上げた（達成度8割以上）	12	16	10
B ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）	29	23	31
C 事業の見直しが必要（達成度3割以下）	8	10	8

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	I 人権の尊重
事業名	人権に関する教育及び意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	生活課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、小中学校の人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	人権擁護委員による街頭啓発活動を行うとともに、小学校において人権教室を開催し、他人への思いやりやいたわりの大切さ等を伝えます。また、小・中学生には人権に関する作品づくりを通じ、豊かな人権感覚を身に付けてもらえるよう教育委員会に依頼するとともに、児童生徒の作品展示を通して、市民の人権尊重意識の啓発に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①市内小学校における人権教室の実施 ②小中学校への人権ポスター原画・人権作文の依頼 ③夏期学童クラブへ人権「紙芝居」の実施

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、長生郡市内で組織する「茂原人権擁護委員協議会」で①人権教室③人権紙芝居の中止を決定した。 上記事業ができなかったため、小中学校1年生に人権冊子「種をまこう」等を配付し、人権尊重意識の醸成を図った。また相談日程の掲載したポスターを作成し、公共施設内に掲示し、人権相談の周知を図った。 ②人権ポスター(小学校11校:167点参加、中学校1校:1点参加)人権作文(中学校4校:113点応募)		2回	281名		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主要な事業を実施できなかった。 (課題・問題点) コロナ禍においても実施できる啓発方法の検討が必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、小中学校の人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

C H E C K (評 価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染症予防の観点から主要な事業を実施できていないため。		
	(課題・問題点) パンフレット配布以外にリモート配信や録画したものの配布等コロナ禍での実施方法を検討することが望ましい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	1	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
新型コロナを理由として主要事業ができなかったとしているが、新型コロナ流行も2年目であることから、それを踏まえた対応策を工夫することが求められるが、工夫のための取組がみられない。			
改善策等の提言			
・小・中時代に人権教育を受講することは必須。オンラインでの人権教育は可能だと思う。内容は、より身近な問題SNS、SMSIによるいじめ等を重点的に取り上げられてはどうか。 ・人権ポスターの中学校の参加校が1校だけであるが全校に向けて参加を呼びかけて広く啓発に努められたい。 ・より良い人権に関する教育及び意識啓発の推進のため、他都道府県の事例も積極的に学んで、具体的な問題を掘り起こしてほしい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	2	基本目標	I 人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	商工観光課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ効果的に発信する。 また防止策等に積極的な企業の取り組み等を情報発信する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	職場におけるセクハラ等防止について、茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センター等の相談窓口について、情報提供を行います。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	セミナー等の開催 年1回以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①国や県の関係機関と連携を図り、茂原商工会議所等の関係機関に対し、セクハラ・パワハラ等防止のためのパンフレット等を配布し、周知に努める。 ②セクハラ・パワハラ等防止に関する情報を、市公式ウェブサイトや市及び茂原商工会議所等の関係団体の発行する広報誌への掲載及びパンフレット等の配布により周知に努める。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①関係機関と連携を図り、パンフレット等配布し周知に努めた。				
	②市公式ウェブサイトを体系的に整理し、施策等の情報発信に努めると共に、パンフレット等の配布やポスターの掲示により周知に努めた。				
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	セミナー等の開催 0回				
	R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		
	0	0	0		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 国・県等の施策に関する情報を、効果的に情報発信することができた。 (課題・問題点) 新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により、セミナー等の開催ができなかった。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ効果的に発信する。 セミナー等の開催については、先進的な事例を参考にオンライン形式等での開催を検討する。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 新型コロナ感染症予防の観点から主要な事業を実施できていないため。 (課題・問題点) セミナーについて、年1回の開催では参加できない人もいるため、開催回数を増やすことを検討されたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	1	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
・国、県等の施策に関する情報発信はできているが、そのみである。 ・新型コロナ流行も2年目であることから、それを踏まえた対応策を工夫することが求められるが、工夫のための取組がみられない。 ・パンフレットの配布のみで、本当に効果的な情報発信ができたのか疑問。		
改善策等の提言		
・企業向けに、職場におけるセクハラ、パワハラ等防止のための研修の充実を図られたい。 ・セミナー開催を年1回以上開催を目標としているが、これまでの施策の遅れを取り戻す意味でも、開催回数を増やす努力が求められる。 ・様々なパンフレットを配布するのではなく、いくつかのパンフレットを読み直し、独自の冊子にまとめるほうが分かりやすいと思う。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	I 人権の尊重
事業名	多様な性のあり方に関する意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	LGBT等(性的少数者)に対する理解を深め、当事者に対する偏見や差別意識をなくし、すべての人が多様な個性を尊重し合い、豊かで安心して生活できるよう、LGBT等に対する正しい情報提供や理解促進のための啓発を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	性の多様性に関する啓発 年1回以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

- ①国・県等から、LGBTに関するパンフレットを取り寄せ、市民の目につきやすいところに設置するとともに、講演会等の機会がある度に配布する。
 ②市公式ウェブサイト、LGBTに関する啓発のページを作成する。
 ③LGBTに関する啓発リーフレットを作成し、配布する。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①県からLGBTに関するパンフレット「みんなに知ってもらいたい性の多様性」を取り寄せ、公共施設で配架した。(企画政策課窓口、情報公開コーナー、図書館(男女共同参画週間をテーマにした一般展示の際))	①1回	④1人(女1人)		
	②市公式ウェブサイト、LGBTに関する啓発のページ「多様な性のあり方について」を作成した。	②1回			
	③LGBTに関する啓発チラシを作成し、自治会回覧で配布した。	③1回			
	④千葉県男女共同参画地域推進員全体研修会(オンライン講座「男女共同参画を推進する上で必要なLGBTの基礎知識」)参加。(担当職員1名)	④1回			
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)

性の多様性に関する啓発 3回				
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		
0	0	0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標を超える回数の啓発ができた。 (課題・問題点) チラシ配布等の実施により、どの程度の人目に情報が触れているのか、それにより意識啓発が進んでいるか、効果を図ることが難しい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、啓発チラシの配布・設置、市公式ウェブページの充実により、市民への情報提供に努める。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画に対し一定以上の事業を実施しているため。 (課題・問題点) 公共施設の配架の場合、手に取る者が限られるため、学校を通して、生徒・児童に配布し、若い世代への周知を図ることを検討して欲しい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
・概ね計画通り実施されている。 ・チラシやパンフレットの有効性と、市公式ウェブページの活用が不十分である。		
改善策等の提言		
・他市町村のパンフレット等を参考にする際、千葉県のパンフレットも良いが、千葉市のは一段と具体的で参考になると思われる。 ・出前講座を用意できると良い。 ・目標を上回る実施回数だったため、数値目標の見直しが必要と思われる。 ・教育現場と連携した取り組みが必要。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	I 人権の尊重
事業名	市民相談・人権相談に対する適切な対応	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	生活課	施策の方向	(2)相談体制の拡充

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の相談、法務局で毎日実施している人権相談、電話による人権相談等の周知に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民から寄せられる相談は、年々増加するとともにその内容も複雑多様化していることから、人権相談をはじめとする各種相談について、関係各課及び国・県とも連携を図りながら、より迅速かつ適切に相談内容の解決に向けた取り組みの強化に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①人権相談所の開設(市役所12回、ほのおか館12回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設人権週間1回、女性の人権ホットライン1回) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会(5月)、部会(6月)、全委員研修会(11月)、合同部会(2月) ④市民相談

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①人権相談所の開設(市役所10回、ほのおか館10回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設週間1回、相談案内1回) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会(5月・書面議決) 第1部会、全委員研修会、合同部会は、感染拡大防止のため中止。 ④市民相談(毎日) ⑤人権週間のポスター掲示及びチラシの配布、女性の人権ホットライン等のポスターの掲示	20回	1件 (法務局で実施している相談等については、非公表)		
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		
	1,116	1,112	1118		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、相談会が4回中止になったが、代替としてポスターやチラシによる相談先の周知や市のウェブサイト等による電話相談の案内をした。 (課題・問題点) コロナ禍で自粛規制がかかる中、今後、対面ではないインターネット相談や電話相談を様々な方法で周知していく。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の相談、法務局で毎日実施している人権相談、電話・インターネットによる人権相談等の周知に努める。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 研修は開催できていないが、その他の事業については一定の成果を上げているため。		
	(課題・問題点) 人権相談所について、20回の開催に対して、参加者が1件であることから、開催方法と周知方法について検討することが望ましい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・研修・相談会はできていないが、代替の取組ができた。 ・新型コロナ流行も2年目であることから、それを踏まえた対応策を工夫することが求められる。			
改善策等の提言			
・人権相談所が開設されていても利用者がいないのはなぜなのか疑問がある。人権相談所が知られていないのか、利用しづらいのか、要検討事案だと思う。 ・チラシ、ポスターによる周知と市のウェブサイトでの対応による方策は有効的なので、今後も引き続きは市の公式ウェブサイトを活用した周知とインターネット相談などの拡充を求めたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	I 人権の尊重
事業名	児童・生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	学校教育課	施策の方向	(2) 相談体制の拡充

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	・実際の相談回数から、児童生徒及び保護者のニーズは高く、今後も児童生徒の心のよりどころとなるよう、未配置校の解消に向けて取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	スクールカウンセラー(県事業)や心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実に図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・スクールカウンセラー配置校 現計画中に12校 ・心の教室相談員配置校 現計画中に4校
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・スクールカウンセラーの配置(全中学校6校、小学校5校(東郷、茂原、五郷、本納、萩原))※県事業 ・心の教室相談員の配置(小学校4校(豊田、中の島、豊岡、東部))

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①児童生徒からの相談に対して傾聴し、一人ひとりの心に寄り添いながら、個に応じた対応を心がけた。 ②相談体制の充実のために、在校日を児童生徒及び保護者に知らせ、相談活動の充実を図った。 ③令和3年9月から、全小中学校にスクールカウンセラーが配置となり、相談体制が充実した。					
【補足】スクールカウンセラー在校日について 各小学校 月2回 各中学校 週1回					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・スクールカウンセラー配置校 19校 ・心の教室相談員配置校 4校					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
914		914		914	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C: 事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) これまでスクールカウンセラーが未配置の小学校では、中学校区で連携しサポート体制をとっていたが、令和3年9月から市内全校に配置となったことで、児童生徒や保護者へカウンセリング等の相談体制が充実した。また、事案に対する学校内の連携や、支援チーム体制の構築・支援に携わることで支援体制の充実につながった。 (課題・問題点) 児童生徒の精神的なケアの観点から、在校日を増やすことが必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	児童生徒及び保護者からのニーズは高く、今後も心のよりどころとなるよう、在校日を増やすことに取り組む。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標の8割以上の成果(配置)ができているため。		
	(課題・問題点) 在校日を増やしてもらいたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・概ね数値目標を達成できている。 ・スクールカウンセラーの配置が順調に進められていると思う。			
改善策等の提言			
・もっと気軽に保護者や子どもたちが相談できるように、スクールカウンセラーの在校日数を増やせるよう努力されたい。 ・在校日数を数値目標化されたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市民向け講演会や講座等の開催	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲 幅広い世代・性別に男女共同参画について興味を持ってもらえるよう、講演会・講座の内容を親しみやすいものに設定する等工夫をする。また、広報、自治会回覧、公共施設でのチラシ配布等、より多くの人に参加してもらえるよう幅広い周知を図る。
---------------------	---

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画 男女共同参画に関する講演会や講座等を開催するとともに、県や関係機関との連携を図り、市民に対する意識啓発をします。講演会や講座の開催にあたっては、開催日時やテーマ・託児などに配慮し、幅広い年代の、より多くの方に参加してもらえるよう努めます。 第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 ・講演会・講座等の開催回数 年2回以上 ・参加者数 年150人以上 R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、男女共同参画に関する講演会・講座等を開催する。 ②働く世代も参加しやすい土日の開催および、子育て世代への配慮として無料託児を実施する。
--------------------------	---

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①②新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。 ③千葉県男女共同参画地域推進員事業(東上総地域)主催オンライン講演会「笑って考える男女共同参画～男の家事が世界を救う～(11月24日開催)」(講師:東京大学大学院教授 瀬地山角氏)について、チラシの配布等の周知を行うと共に、オンライン視聴が難しい市民向けに各市町村で視聴会場を用意した。(茂原市は庁舎502会議室) ④上記の他、国・県等が開催する講演会・セミナー等について、チラシを公共施設に配架する等の周知を行った。		①②中止 ③1回 ④適宜	①②中止 ③茂原市会場視聴者数4人(男1、女3)※講演会全体の参加者は57人(県による集計)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・講演会・講座等の開催回数 1回 ・参加者数 4人					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
83		0		83	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点 ☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下) (評価の根拠) 2回の講演会について、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのオンライン視聴と、オンライン参加が難しい方のための会場参加、どちらでも可能なハイブリッド形式での開催を予定していたが、感染者の急激な増加状況を考慮し、会場に講師を招くことはできないという判断となり、講演会自体が中止となった。 (課題・問題点) 会場での開催が中止になる場合はオンライン視聴だけでも可能なように準備をしておくべきだった。
-------------------------------	--

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 講演会の開催について、より多くの市民に参加してもらえるよう、会場とオンラインでの同時開催を検討する。新型コロナウイルスの感染拡大状況により会場での開催が中止になる場合でも、オンラインでの開催はできるよう準備する。 また、来年度も引き続き、国や県で開催するオンライン講演会・セミナー等について積極的に情報提供する。
---------------------	--

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染症予防の観点から講演会が実施できていないため。

(課題・問題点) 会場での開催が中止となる場合、オンライン配信はできるように検討して欲しい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

講演会が実施されていないため。

改善策等の提言

新型コロナ流行の動向を踏まえつつ、会場開催を原則としつつも、オンライン対応もできるよう準備をすることが望まれる。年2回以上の数値目標は達成されたい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	7	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する意識啓発	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	引き続き、国・県の男女共同参画に関する意識啓発のためのパンフレットを広く配布する。また、ハートフルフェスタ実行委員会と協働で作成したパンフレットも、機会があるたびに配布する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女共同参画に関する意識啓発のための、情報紙やパンフレット、男女共同参画の視点からの表現ガイドラインをあらゆる機会に配布するとともに、広報もばら・市公式ウェブサイト等を活用して情報発信に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	意識啓発パンフレット等の配布 年2回 6,000部以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①広報・市公式ウェブサイト・自治会回覧等を利用し、男女共同参画について情報発信に努める。
②茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働で作成した意識啓発リーフレットを広く配布する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①広報もばらに啓発コラム掲載(10月1日号「アンコンシャス・バイアスという言葉をご存じですか?」、10月15日号「女性の政治参画」)		①5回	⑥4人(男2人、女2人)		
①LGBTに関する啓発チラシを作成し自治会回覧をするとともに、市公式ウェブサイトにLGBTに関する啓発のページ「多様な性のあり方について」を作成した。【事業No.3再掲】		②1回			
①千葉県男女共同参画地域推進員 第9期委員の募集についてチラシを作成し、自治会回覧および公共施設に配架した。		③2回			
②茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働で作成した意識啓発リーフレット「配偶者やパートナー・恋人からの暴力・暴言に悩むあなたへ」を公共施設に配架および市公式ウェブサイトに掲載した。		④2回			
【当初計画以外に実施したもの】		⑤2回以上			
・表現ガイドラインの周知を行った(庁内メール、新採研修)		⑥1回			
・生理用品の無償配布についてのチラシを自治会回覧および公共施設に配架するとともに、「生理に貧困」についての啓発コラムを広報もばらに掲載した。		⑦適宜			
・千葉県男女共同参画地域推進員事業(東上総地域)作成のリーフレット「避難所運営にも男女共同参画の視点を!」の配布について各課に依頼した(まちびとカフェ、自主防災グループ等)					
・市民活動支援センター主催「まちびとカフェ」で男女共同参画についての出前講座を行った。【事業No.18(生活課担当)にも記載あり】					
国・県・関連機関の各種行事・事業のチラシや啓発リーフレットについて、関係部局や委員へ情報提供および公共施設に配架した。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
意識啓発パンフレット等の配布 5回以上 9,000部以上 (自治会回覧3回+公共施設配架)					
R3予算額(千円)		R4予算額			
0		0			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
	(評価の根拠) 数値目標を上回る成果をあげた。 (課題・問題点) 事業番号3同様、チラシ配布等の実施により、どの程度の人目に情報が触れているのか、それにより意識啓発が進んでいるか、効果を図ることが難しい。	

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、広報もばら、市公式ウェブサイト、自治会回覧等を活用して積極的に情報発信を行う。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠) 計画で定めた数値目標について、一定の成果を上げているため。

(課題・問題点) 幅広い世代にSNS等を利用しながら、より周知してもらいたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・数値目標について、着実に成果を上げている。

・情報発信はよくされていると思う。

改善策等の提言

・引き続き、多様な取り組みを展開することを要望する。

・広報、ウェブサイト、回覧に加えて出前講座(コロナ終息まではZoomでも)などでのさまざまな発信をされたい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	8	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり
課係名	職員課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	コロナ禍において、遠方から講師を招き、安全に研修を実施することは非常に難しいことであるが、感染症の状況を見極めながら研修を実施する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施 年1回以上
D O (実施)	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	全職員を対象に「茂原市職員ハラスメント防止指針」に基づく研修を実施し、セクハラ及び妊娠、出産、育児、介護に関するハラスメントの理解を深める。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	管理職員(6級職)を対象に「メンタルヘルスマネジメントの手引き」を配布した。 こころの不調を起こす職員が増加傾向にあるため、管理職員が職員の不調を早期発見・対応することで、働きやすい職場環境づくりに努めた。	1回	127名		
	6級以上職員対象の管理職研修 コロナ感染者増のため中止 令和4年2月18日「管理職向けハラスメント防止研修」 講師:(株)学宣 山口 尚子 内容:職場のハラスメントとは				
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	管理職員へのメンタルヘルスマネジメントに関する手引き配布 1回				
	R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		
	385	385	380		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)コロナ感染症予防のため、予定していた管理職へのハラスメント防止研修はできなかったが、メンタルヘルスに関する手引きを配布することで所属職員が働きやすい職場づくりに取り組む意識づけができた。 (課題・問題点)今後はコロナ感染症対策として研修の実施方法について検討する必要がある。また、対象者を管理職以外にも実施できるよう努める。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	コロナ禍において研修実施が難しい現状があるが、感染症の状況を見極めながら効果的に研修を実施する。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠) 研修が中止となり、手引きを配布したのみとなっているため。

(課題・問題点) リモート配信や録画したものの配布等コロナ禍での実施方法を検討することが望ましい。また参加者を管理職員に限らない方が望ましい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・管理職相当職の研修が実施されていない。また、職員に対する意識改革への取り組みが不十分。
・DO欄の「管理職が職員の不調を早期発見・対応することができ、働きやすい職場づくりに努めた」とあるが、具体的な内容が不明確。

改善策等の提言

・職場におけるハラスメントの防止については、全てのハラスメント防止の検討が必要である。
・職員なので、録画配信などの工夫をし、何らかの方法でなるべく多くの職員が参加できるようにすべきだと思う。
・研修が中止になり手引きなどの配布になった場合、手引きなどを読んだレポート等の提出をすることにより研修としての効果が期待できる。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	9(子)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1) 保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。 ②一時保育を安定して提供できるよう、必要な保育士の確保に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	(保育所・幼稚園) 乳幼児の保育や乳児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①性別による固定的な役割分担や、性格、服装、色使い等において必要以上に男女の区別をしないよう配慮する。 ②職員課と連携を図り、正規職員および会計年度任用職員(保育士)を確保する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①保育所では保育所保育指針(厚労省告示)に基づき保育を実施しており、指針中の「子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないようにすること。」を遵守して保育を実施している。 ②現場の状況を把握したうえで職員課と交渉し、来年度(令和4年度)も待機児童が発生しない程度の職員確保を達成した。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額			
0					

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C: 事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ①について、男女平等の視点に配慮した保育を行っているが、定量的又は定性的に達成度を測り評価することは困難である。 ②待機児童はゼロにできたが、対応が難しい児童の入所も一定数見込まれ、現場としては余裕のある職員数ではない。 (課題・問題点) ①については保育所での取り組みがあることを示すために計画に載せる必要はあると思うが、評価の対象からは外すことも検討するべきと考える。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。 ②現場に過度な負担が生じることなく必要な保育を提供できるよう、保育士の確保に努める。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠) 数値的な評価は性質上難しいが、一定の成果をあげていることが読み取れるため。

(課題・問題点) 「PLAN(計画)」の内、②の職員の確保について、現状では本計画との結びつきが読み取りずらいため、男女共同参画の視点から見た内容への変更が望ましい。

重点評価事業**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・一定の成果は上げていると思われる。
・Do欄の①については、確かに、定量的・定性的な目標の設定が難しく、何をどの程度実施できたのか把握が難しい。

改善策等の提言

・母子家庭の子供達にとっては大人の男性保育士とのふれあいにより成育環境を豊かにすると思われるので、男性保育士の確保についても検討されたい。
・達成度を評価するのは難しいが、実際に行われていることなどを具体的に、書いてくれると分かりやすい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	9(学)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	(1) 保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	①各幼稚園、各小中学校において、男女平等を含む人権教育について、各教科等の中で指導していく。 ②思春期健康教室の開催

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画 (保育所・幼稚園)乳幼児の保育や幼児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。 (小中学校)学校教育全体を通じて、自立の意識を育む教育、一人ひとりの個性や能力を尊重し、児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進します。また、人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての指導の充実を図るとともに、教科書等の教材においても適切な配慮がなされるよう留意します。中学校においては、固定的な性別役割分担意識にとらわれず、主体的に進路を選択できるような進路指導に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ・幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施する。 ・小中学校において、各教科や特別活動等の学習を通して、男女平等を含む人権教育について意識を高める教育を実施する。 ・思春期健康教室等により児童生徒に命の大切さを学ばせる。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施した。 ②社会科や道徳科を中心に全教育活動を通して、人権的な視点から学習を進めた。特に学校行事や特別活動において男女の区別無く役割を決め活動を行った。 ③思春期健康教室を行った。(19校中 12校実施)				
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		
	0	0	0		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 各幼稚園、各小中学校において、幼稚園教育要領や学習指導要領に基づいた指導計画を作成し、学習の中で男女平等等の意識を高めることができた。 男女混合名簿の採用、各行事の役割分担など男女平等の意識の元に、教育活動が運営されている。 (課題・問題点) 男女共同参画の視点のみで、授業展開することや数値で評価することは難しい。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 ①幼稚園、各小中学校において、男女平等等を含む人権教育について、全教育活動を通して指導していく。 ②固定的な性別役割分担意識にとられない学校行事等の活動
---------------------	--

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画に対し一定以上の事業を実施しているため。 (課題・問題点) 思春期教室の一層の充実を図られたい。幼児期に関する計画・取組について、より具体的な内容を記載する事が望ましい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
・概ね計画通りに実施されている。 ・思春期健康教室は、R2年度より増えているが、全校で行われていない。		
改善策等の提言		
・数値目標の設定が難しいので、評価ができるような目標設定について検討することが求められる。 ・担当者の評価(課題・問題点)で、「男女共同参画の視点のみで、授業展開することや数値で評価することは難しい。」という記載があるが、男女共同参画の視点も取り入れて考えてほしいということである。 ・担当課による次年度の取り組み予定通りに、来年度も展開してほしい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	引き続き様々な機会を通じ、DV防止に関する啓発に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	DVが人権侵害であるという観点から、配偶者・パートナーに対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進します。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	配偶者・パートナーに対する暴力をなくす運動の周知 年1回以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①被害者に対し、県が主催している「DV被害者のための自立支援講座」への参加を促進する。 ②毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、街頭啓発を実施する。 ③若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するため、様々な機会を通じ、啓発活動に取り組む。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間について、広報もばらに掲載し周知を図った。 ②市庁舎、本納支所などの市内公共施設にDV防止に関するポスターを掲示。 ③11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間時に周知用のチラシを各自治会への回覧を実施。		①1回			
		③1回			
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
配偶者・パートナーに対する暴力をなくす運動の周知 1回					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 昨年度に引き続き、コロナ禍での感染拡大防止に努めながら、周知・啓発に取り組んだ。 (課題・問題点) 新たな手法での周知・啓発活動への取り組みの実施。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き様々な機会を通じて、DV防止に関する周知・啓発活動を実施していく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 計画に対し一定以上の事業を実施しているため。		
	(課題・問題点) 新たな手法での周知・啓発に加え、幅広い世代への周知を検討して欲しい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・概ね計画通り実施できている。			
改善策等の提言			
・SNS等を活用するなど、デートDV等、若者向けの周知の充実に努められたい。 ・若年層へのデートDV防止に関しては、教育委員会の協力も得て、より一層充実されたい。 ・Check欄に「新たな手法での周知・啓発活動への取組が必要」とあるが、「新たな手法」について具体的に検討することが求められる。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVIに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載
	②公共施設のトイレにDVステッカーを設置
	③DV相談カードの配布

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努めます。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらや市公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により積極的な周知を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・相談窓口の周知・啓発回数 年1回以上 ・DVに関する研修参加 年2回以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①庁内におけるDV支援の連携・強化を図るため、関係課による会議を開催する。 ②広報もばら、市公式ウェブサイトへの掲載やポスターの掲示、パンフレット、啓発物資の配布等により周知を図る。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①DV相談窓口に関する情報を広報もばらに掲載(毎月掲載)	①12回			
	②市庁舎、本納支所等の公共施設のトイレにDV相談ステッカーを設置	②1回			
	③DV相談カードの配布(子育て支援課、本納支所、保健センターの窓口に配布)	⑥18回			
	④DV防止に関する記事を市公式ウェブサイトに随時掲載 ⑤11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間時に周知用のチラシを各自治会へ回覧 ⑥DV支援に関する専門的研修会に参加				
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・相談窓口の周知・啓発回数 12回 ・DVに関する研修参加 18回				
	R3予算額(千円)	R3決算見込額		R4予算額	
	0	0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 概ね計画通り実行できた。 (課題・問題点) 相談体制の強化に向けた専門知識を持った人員の配置。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①DV相談窓口に関する情報を広報もばらへ掲載
	②公共施設のトイレにDVステッカーを設置
	③DV相談カードの配布 ④専門的研修会への参加

【2次評価】推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠) 計画に対し一定以上の事業を実施しているため。

(課題・問題点) ①保育所での啓発物品の配布等、配布先の拡大を検討して欲しい。
②「PLAN」の「具体的取り組み計画」の内、1文目の「関係機関や関係各課との連携による被害者の保護や情報収集」は本事業との関連性が薄く、No.14の内容に類似しているため、見直しを検討してはどうか。

重点評価事業

【3次評価】推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

概ね計画通り実施されている。

改善策等の提言

・DV相談について広報に掲載されていますが、DVについてイラストなどにより詳しく説明することで、自分はDVを受けていると気づくことができるので、11月号にDV防止週間にあわせて掲載するなど工夫されたい。
・これからも担当者のDV支援専門知識を拡充されたい。
・啓発物品の配布先に、市内のコンビニや、大型店舗等にも協力を仰ぎ、より多く市民に目に触れるようにされたい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	12	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	障害者(児)の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	今後も虐待にかかる通報があった場合は、関係各課及び関係機関と連携し、障害のある人への支援や養護者への支援を行っていく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	障害の有無や性別にとらわれず、人としての尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、虐待に対する相談支援を行います。また、障害者虐待の相談窓口及び通報業務について、市公式ウェブサイト等を利用し、周知します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①担当職員の資質向上のため、障害者虐待防止研修会等に積極的に参加する。
②障害者虐待の相談窓口等について、市公式ウェブサイト等を活用し、周知活動を行う。
③障害者虐待通報があった場合は、中核地域生活支援センター等の関係機関と連携し、適切に対応する。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①県等が主催する障害者虐待防止研修に参加し、虐待に関する相談・指導・援助についての対応技能を取得した。	7回	男2名、女2名 延10名参加		
	②障害者虐待について、公式ウェブサイトでの周知の他、関係機関へ講演会を実施する等し、周知活動を行った。	講演会 2回			
	③虐待通報については、事実確認を実施し、必要に応じて保健所・関係各課・中核地域生活支援センター等の関係機関と連携し、障害のある人や家族への支援を行った。	通報件数 13件			
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)

R3年度の数値成果: R4(参考) R5(参考) R6(参考) R7(参考)

R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額
0	0	0

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 職員のスキルアップのための研修へ積極的に参加したことで、虐待に関する相談・指導・援助についての対応技法を取得し、適切に障害者虐待事案に対応することができた。 (課題・問題点) 引き続き、職員のスキルアップをはかり、虐待通報に対して適切な対応を行う必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も障害者虐待防止研修等へ参加するよう努める。また、障害者虐待通報に関しては、関係各課及び関係機関と連携し、適切に対応する。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 数値目標がなく、それと比較して数値的に評価をすることは適わない一方、数値的な実施回数は他の事業よりも多いことと、1次評価の内容から十分な成果を上げていると考えられるため。 (課題・問題点) 市民に対する周知のより一層の拡大を図りたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
・積極的に研修に参加し、職員のスキルアップをはかっていること等、大いに評価できる。		
改善策等の提言		
・実際に関わっている施設の職員にも研修が必要と思われる。参加できるように検討されたい。 ・引き続き、研修により職員の資質向上に努め、障害者虐待通報へ適切に対応することが求められる。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	13	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	高齢者の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	高齢者の威厳の保持のため、高齢者虐待に係る相談、指導・助言、通報・届出の受理、高齢者の安全確認や事実確認等を行い、高齢者虐待の防止についてパンフレットを用いて周知します。また、高齢者見守りネットワークを用いて、高齢者虐待の早期発見・予防に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	高齢者見守りネットワーク新規協力事業所 年1事業所以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①高齢者虐待に係るパンフレットの窓口配置。 ②高齢者見守りネットワーク事業について、警備会社や薬局、商工会議所等に協力の依頼を行う等で、加入事業所の促進を図る。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①高齢者虐待に係るパンフレットを高齢者支援課や地域包括支援センターの窓口配置した。 ②高齢者見守りネットワーク事業について、移動販売業者と覚書を締結した。				
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	高齢者見守りネットワーク新規協力事業所 1事業所				
	R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		
	0	0	0		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 高齢者を含めた地域住民が暮らす地区に定期的に訪問する移動販売業者に協力を依頼し、覚書を締結することができた。 (課題・問題点) 地域の事業所への周知が十分ではなく、地域包括支援室の方から依頼しないと協力事業所が増えない状況になっている。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	広報掲載等を通じて高齢者見守りネットワーク事業の周知を図る。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標1事業所以上に対し、実績として1事業所との覚書を締結しているため。		
	(課題・問題点) 地域包括支援室から依頼しなくても協力事業所が増えるような市側の取組を検討されたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・概ね計画通り実施できている。 ・推進委員会と同意見で事業の知名度を高める必要を感じる。			
改善策等の提言			
・地域包括支援室と連携して、協力事業所を少しでも多く増やせるように努力されたい。 ・R3年度の取り組みだけでなく、第4次計画の取り組みにある高齢者虐待に係る相談・助言、通報・届出があったかどうかの記載が欲しい。高齢者の安全確認や事実確認等を行ったかの報告も欲しい。 ・「高齢者虐待に係るパンフレットの窓口配置」とあるが、高齢者支援課の窓口だけではなく、図書館などの一般市民の目に多く触れるところに置いておくことが必要だと思う。 ・高齢者見守りネットワークについては国から下りてきた全国規模の取組のようだが、他自治体の事例を参考に、地域の特性を踏まえた工夫を入れてほしい。 ・見守りネットワーク事業に関しては、周知に努めるだけでなく、その質の向上が図られるようされたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	関係機関との連携の強化	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2)被害者に対する支援、相談の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	引き続き、庁内支援体制の強化を図り、DV被害者の安全確保と自立に向けた支援に取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	地域配偶者暴力相談支援センター(長生健康福祉センター)、女性サポートセンター、警察、中核地域生活支援センターなどの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図ります。また、外国人や高齢者、障害者等のDV被害者の対応について、庁内連携体制の強化を図るとともに、情報の共有や漏洩防止に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	DV等に関する庁内連携会議開催 年1回以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①関係機関との連携を図り支援に努める。 ②被害者の安全確保に努める。 ③DV支援の連携強化を図るため、支援会議を開催する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）						
内容			回数	参加者数(男女別)		
令和3年10月14日に、庁内連携会議(午前に管理職員対象、午後一般職員対象)を実施した。 長生健康福祉センター(県配偶者暴力相談支援センター)のDV相談担当者とDV被害者の情報共有を図り、必要としている支援方法について協議を行った。また、一時避難が必要と思われるDV被害者について、女性サポートセンターと連携し、シェルターへの入所や退所に向けての自立支援を実施した。			各1回	管理職:11人 (男8人、女3人) 一般職:12人 (男5人、女7人)		
R3年度の数値成果			R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
DV等に関する庁内連携会議開催 1回						
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額		
0						

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 概ね計画どおりに遂行できた。 (課題・問題点) 相談体制の充実に向けた専門的知識を持った人員の配置

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、庁内支援体制の強化を図り、DV被害者の安全確保と自立に向けた支援に取り組む。

C H E C K (評 価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標は一定数達成されているため。		
	(課題・問題点) 関係機関・関係各課との連携のみならず、全庁的な取り組み(通報等)が図られるよう、職員の意識醸成に取り組んでもらいたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・数値目標は概ね達成されている。 ・庁内連携会議について、年1回では少ないと思う。			
改善策等の提言			
・庁内連携会議については、開催するにとどまらず、内容の充実に努められたい。また、Check欄に「相談体制の充実にに向けた専門的知識を持った人員の配置」とあるが、その実現に向けた具体的な取り組みが求められる。 ・コロナ禍で問題は増えていると思われるため、庁内連携会議は必要に応じて開催を検討されたい。関係機関との連携を強化し情報を共有するためにも、年2回は会議を開催して欲しい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	15	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	引き続き、審議会等における女性の登用について調査し、女性の積極的な登用を依頼する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民協働によるまちづくり推進を担う各団体において、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定にあたっては公募枠の拡大、代表者に限定しない適任者の推薦などを依頼し、女性の登用を促進します。特に、女性委員のいない団体や審議会等をなくすことを目指し、女性の参画拡大を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	審議会等における女性委員の登用率 30%以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①審議会等における女性の登用率について調査する。 ②審議会等における女性の参加促進について各担当課に依頼するとともに、難しい場合は理由をヒヤリングする。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①審議会等における女性の登用率について調査した。 ②審議会等における女性の参加促進について各担当課に依頼した。		①1回 ②1回			
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
審議会等における女性委員の登用率 23.0% ※地方自治法第202条の3に基づく審議会等（広域の審議会を含む）50審議会の女性比率					
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 調査は行ったが、女性の登用率30%を達成していない審議会等についてのヒヤリングは行っていない。 (課題・問題点) 以前ヒヤリングを行った際には、登用しようにも該当分野に女性の人材が少ない、なり手がないという声があった。審議会委員およびそれを所管する部局は女性の登用を積極的に行いたい意思があるが、そもそも人材不足という状況がうかがえる。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今年度できなかったヒヤリングを実施し、各審議会等の課題を把握する。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 調査及び参加促進の通知については実施しているため。 (課題・問題点) ヒアリングの実施すること及び、1次評価の記載のある「女性の人材不足」という問題の解決策について検討して欲しい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
・調査及び参加促進の通知はなされている。 ・審議会等の委員の選任は、それぞれの所管課で行うので、企画政策課のすることには自ずと限界がある。		
改善策等の提言		
・審議会の等の女性の登用率の調査結果の公表を行うべき。 ・ヒヤリングを実施して「女性の人材不足」という問題の解決策を検討して欲しい。 ・市の審議会及び協議会の委員の選任は学識経験者やその他の自治会をはじめとする各分野の選任が多く、女性の登用以前に市民に開かれた委員会として市民の一般公募の枠を増加し、女性枠をあらかじめ決めておく方法も実践するべきである。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	16	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	特定事業主行動計画において、職員課及び所属長が主体となり取り組む内容とともに同じ数値目標を掲げている。次年度以降は行動計画の周知を図り、継続して管理職に女性を登用する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女を問わず採用・登用し、性別にとらわれない人事配置を行います。また、女性職員がその能力特性を十分発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	管理職に占める女性の割合 30%以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	働きやすい環境整備を推進するとともに適材適所の人員配置をして、積極的な女性の登用を図る。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
令和3年度管理職への登用状況(令和3年4月1日現在) 管理職に占める女性の割合 18.1% 女性職員の人数 21人/116人 9級(部長職) 0人/8人 8級(次長職) 1人/10人 7級(課長級) 6人/40人 6級(補佐級) 14人/58人		18.10%	116人(男95人・女21人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
管理職に占める女性の割合 令和7年度までに30%以上					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)積極的な登用は行っているが、目標数値には達していない。昨年度と比較すると退職により割合の減少があるが、女性職員を上位の職へ登用しており、政策・方針決定などに参画し、実力を発揮している。 (課題・問題点)女性の登用にあたっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、育児や介護等と両立できるよう働きやすい職場環境を整備する必要がある。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も積極的に女性を登用するとともに、能力・意識向上のための研修参加など女性の成長を支援し、長期的な視点に立った育成やキャリア形成を図る。

C H E C K (評 価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標は達成されていないが、それに向けた取り組み・努力がうかがえるため。		
	(課題・問題点) 女性の成長・キャリア形成を支援するため、より一層の研修の実施等を図られたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・職場において女性の働きやすい環境の整備の具体的な内容が推定できない。また積極的に登用を行っているという主張の根拠が不明と感じる。			
改善策等の提言			
・人材育成は長期的視点から行われるもの。30%という目標が達成できない場合、ただ数字合わせをすれば良いというものではない。むしろ、どのように女性職員を育成・訓練していくか、そのために必要な取組・政策は何かを具体的に考える必要がある。改善のところには、「長期的視点に立った育成やキャリア形成を図る」とあるが、「長期的」としているうえ、その具体的な方法が全く見えてこない。これではいつまでたっても30%の目標達成は無理。せめて中期的な視点に立って、具体的な政策目標を立てることが望まれる。 ・育児や介護などの家庭環境と両立できるような職場環境を整備する必要がある。 ・能力・意識向上のための研修参加など女性の育成支援やキャリアアップを促進して欲しい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	17	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の活躍推進のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	昨年からの災害及び新型コロナウイルス感染症予防のため、予算措置はあるものの研修に参加させることができなかったため、次年度以降はオンラインなど安全に実施できる研修を検討する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用するなど、市女性職員の活躍推進のための研修等への参加機会の確保・拡充を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	市女性職員の活躍推進のための研修への参加人数 年5人以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	千葉県自治研修センター等が実施する女性職員のための研修に職員を積極的に派遣する。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	令和3年度は5名の女性職員が能力開発のための研修に参加した。 ・千葉県自治研修センター「女性活躍推進研修」(2日間)1名 ・(株)インソース「女性リーダー研修」(オンライン研修・1日間)4名		年5人	5名(男0名・女5名)	
	R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)
	市女性職員の活躍推進のための研修への参加人数 年5人				
	R3予算額(千円)		R4予算額		
	36		61		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 係長相当職の職員を派遣したので、女性リーダーの育成に有効であったと考える。研修で学んだことを活かし各所属で活用している。 (課題・問題点) 係長相当職及び副主査級女性職員の研修参加機会を増やすために、研修に参加しやすい職場環境づくりに努める。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引続き研修に積極的に派遣するとともに、研修後も女性職員との交流や情報交換を通じて、新たな価値観や人間関係が形成できるような職場環境整備につなげていく。

C H E C K (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) オンラインを活用し目標を達成している。 (課題・問題点) 年間計画を周知し職場環境整備に繋がりたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・オンライン研修のなどでの研修実施は評価できるが、参加者があまりにも少ない。			
改善策等の提言			
・目標を達成できているが、そもそも目標が低いのではないかと考えられる。日常業務が山積する中で職員を研修に派遣することについては、所属部署に抵抗感があるとも考えられる。ただ、女性職員の人材育成を図ろうとするなら、そこを乗り越えて、研修の機会を増やすことを検討することも必要と考えられる。例えば、派遣研修ではなく、庁内に講師を招いての研修も考えられるのではないかと。 ・外部の研修や、地域の女性経営者との積極的な交流で自己研鑽につなげていただき、職員のスキルアップ、キャリアアップを図りたい。 ・少なくとも、対象の全女性職員は、最低年1回は1日研修の参加を義務付けて実施する。 さらに、研修を受けた3分の1程度の女性職員を泊りの研修に派遣する。また民間企業とタイアップして職員を派遣するなどの検討をされたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	18	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市民活動における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	(1) 地域における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	講演会や講座の開催を通じて、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成を図るとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女が共に市民活動に参画することの意義について理解を深めることができるよう、自治会長連合会や社会福祉協議会、市民活動団体等の関係団体と連携し、あらゆる機会を通じて意識啓発を図ります。また、市内のボランティア・NPO活動に関する広報・普及活動を行い、市民活動に対する理解の向上、参加促進等を図るとともに、地域の活力向上に資するよう、市民活動に関する情報の共有に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	認定市民活動団体のうち、「男女共同参画」分野に取り組む団体数 年5団体以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・講演会等を実施する際、男女がともに自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう、地域活動における男女共同参画についての周知を図る。 ・市民活動団体の支援の際、男女共同参画の取り組みを促す。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・茂原市自治会長連合会主催による講演会を、合同会社フォーティR&C代表の水津陽子氏を講師に招いて1月23日に開催する予定であったが、感染症予防のため中止となった。 ・千葉南部災害支援センター長加納基成氏を講師に招き、市民活動団体交流会まちびとカフェ特別版「災害時における三者連携・協働に向けて」を11月26日に開催した。 ・企画政策課職員を講師として招き、市民活動団体交流会「まちびとカフェ」において、男女共同参画についての意見交換を9月24日に実施した。		1回	49人(男28人・女21人)		
		1回	4人(男2人・女2人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
認定市民活動団体のうち、「男女共同参画」分野に取り組む団体数 6団体					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
2,840		2,725		2,589	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 茂原市自治会長連合会主催による講演会は感染者の急激な増加に伴い、受講者の感染防止を第一優先としたため、中止となった。まちびとカフェにおいては、地域におけるまちづくりへの理解を深めるとともに、性別を問わずより多くの市民が参加できるよう促し、男女共同参画の意識の醸成に努めた。 (課題・問題点) 地域におけるまちづくりの気運は徐々に高まってきているが、主導的立場の女性が少なく、意思決定過程における男女共同参画が進んでいないのが実情である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、講座や市民活動団体交流会「まちびとカフェ」を通じて、地域におけるまちづくりへの理解を深めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

数値目標は達成しているが、中止した事業の代替案がない。

(課題・問題点)

引き続き女性が参加しやすい環境整備に努めていただきたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

- ・コロナにより講演会は中止になったものの、一定の成果は上げている。
- ・男女共同参画分野に取り組む団体数については目標数値に達しているが、まちびとカフェにおける意見交換会の回数と参加人数が少ない。

改善策等の提言

- ・課題・問題点として、「主導的立場の女性が少なく」とあるが、改善のところには、この課題への対応に向けた工夫・取組が示されていない。やはり、課題を認識できているなら、その課題に向けた取組が必要でないか。
- ・街づくりに関係する審議会等への働きかけと市民活動団体に対する発信は今後も推進を望む。独自のSNS等の活用による直接発信の実施を要望する。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	父親の子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	引き続き、各家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識の啓発を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	家庭教育学級などにおいて、父親の子育ての意識を高める内容を取り入れるなど、父親の積極的な子育ての参加を促進するための学習機会を提供し、子育てを共にする意識の啓発を図ります。また、父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の高揚を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・家庭教育学級の開催回数 年60回 ・家庭教育学級の父親参加者 年350人以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・幼児期(3歳児)家庭教育学級の開催 ・就学時子育て講座の実施 ・幼稚園・小学校家庭教育学級の開催

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①幼児期(3歳児)家庭教育学級		①中止	①0人(男0人、女0人)		
②就学時子育て講座		②13回	②594人(男女別人数不明)		
③幼稚園・小学校家庭教育学級		③18回	③326人(男57人、女269人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・家庭教育学級の開催回数 31回 ・家庭教育学級の父親参加者 57人					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
631		227		595	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍により全5回予定していた幼児期(3歳児)家庭教育学級をすべて中止した他、対象者が最も多い幼稚園・小学校家庭教育学級も開催回数を大幅に減らすこととなったため、数値目標を達成することができなかった。 (課題・問題点) コロナ禍の影響を想定していない数値目標と成果を単純比較はできないものの、幼稚園・小学校家庭教育学級の参加者における男性の割合は17.5%と低いため、引き続き啓発を行っていく必要がある。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、各家庭教育学級を通じて家庭生活における男女共同参画の意識の啓発を図る。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標値を達成しておらず、代替案もないため。 (課題・問題点) オンライン等を活用し、ビデオ撮影した映像等を流すなど、男性が参加しやすい環境づくり及び啓発に努めていただきたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・数値目標を達成しておらず、代替案もないため。			
改善策等の提言			
・父親が参加しやすい、父親学級などの企画を充実させ、参加者の拡大を図ることを望む。 ・課題・問題点のところに、「…男性の割合は17.5%と低いため、引き続き啓発を行っていく必要がある」としているが、改善のところに、この課題へどのように対応するつもりなのか、どのような工夫をするかが記されていない。男性の割合を増やすための具体策の提示が望まれる。 ・オンライン等を活用し、男性が参加しやすい環境づくり及び啓発に努められたい。感染症等に左右されない方法を検討すべき。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	料理教室の回数や募集人員を減らし、感染症対策に配慮して実施する。 生活に根ざした家事に親しんでもらう機会を設け、男性の家庭参画を促進する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女が対等な家族の構成員として互いに尊重し協力し合えるよう、男性も参加しやすい料理教室やその他生活に根ざした実践的な講座等を開催し、男性の家庭参画を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・男性の家庭参画を促す講座の開催 年5回以上 ・男性の家庭参画を促す講座の参加者 年90人以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①「男の料理教室」を開催する。 ②旬の食材を活かし、健康的な家庭料理を習得する。 ③食材の特性や季節感を大事にし、家庭でも応用が利く調理方法を学ぶ。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・男性の家庭参画を促す講座の開催 0回 ・男性の家庭参画を促す講座の参加者 0人					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
50	0	50			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)「男の料理教室」は、新型コロナウイルスによる感染者の急激な増加状況を考慮し、今年度の開催を中止とした。 (課題・問題点) 新型コロナウイルスの影響により、料理教室を行うことが難しい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	教室の内容や講師などを再度検討し、家庭生活に生かせる教養の向上や健康の増進につながる教室を開催できるよう取り組む。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 2年度末における3年度の取組(改善)を実施しておらず、代替案も取っていない。 (課題・問題点) オンラインや料理テキスト等、他の開催方法を検討されたい。料理に限らず教室の内容を再検討する必要がある。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・前年度から、料理教室は開催できないことは予想できたのではないかと代替えを早くから考えてもよかったのでは？ ・コロナにより実施できなかったとはいえ、代替案も示されておらず、工夫の跡が全く見られない。 ・料理＝男性の家庭参画ではないと思う。			
改善策等の提言			
・感染対策をして(マスク着用・試食無し)で少人数で実施するなど工夫すれば開催が可能性になると思う。 ・料理以外の内容を検討されたい。 ・プロの清掃業者等を講師に迎え、女性では困難な自宅の清掃方法や、男性にプロの掃除スキルや方法を学び、家族サービスの一つとして、家事を頑張る奥さんへの手助けになるような企画にしてはどうか。料理はできないが、力仕事が得意、凝り性、手先器用な男性は多いと思うので、掃除は男性にもってこいの家事だと思う。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	21	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	乳幼児相談・健診事業の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	(1) 家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲 引き続き高い受診率を維持できるよう、電話や訪問等で受診勧奨に努める。健診時に父親の来所も増えているため、夫婦で協力して育児ができるように働きかけ、必要に応じて関係機関の相談に繋げる。
---------------------	---

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画 乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しく育児ができるよう、健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発します。 第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 ・6か月乳児相談受診率 95% ・1歳6か月児健康診査受診率 98% ・3歳児健康診査受診率 97% R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①相談・未受診者に対して、電話・家庭訪問等で再勧奨し、受診率の向上を目指す。 ②育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより育児不安の軽減を図り、家族やパートナーとの関係で悩んでいる方は関係機関の相談に繋げる。
--------------------------	---

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①受診率:6か月児乳児相談87.8%、1歳6か月児健康診査96.3%、3歳児健康診査95.2%、 受診勧奨・精密検査連絡票発行者数:6か月乳児相談 1件、1歳6か月児健康診査5件、3歳 児健康診査30件(令和4年3月18日現在)。 ②発達の遅れのある児に対しては、健診時の心理相談等につなげ、子どもの特性に合わせ た関わりができるように支援した。 ③育児不安等については、電話や訪問の他、関係機関の相談事業に繋げ、不安の軽減に 努めた。また、パートナーとの関係に悩んでいる方については、子育て支援課の相談等につ なげた。 (新型コロナウイルス感染症対策) ・感染症対策の一環として、1回の健診等の案内人数を制限しているため、特に3歳児健診は 例年より2回多く実施しているが、本来の対象月齢より2か月ほど遅れて案内している。6か月 乳児相談では、未受診者に訪問等により個別対応(うち窓口来所37件、訪問9件)し、それを 含めると受診率は98.8%となっている。		①12回 ②12回 ③14回			
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・6か月乳児相談受診率 87.8% ・1歳6か月児健康診査受診率 96.4% ・3歳児健康診査受診率 97.4%					
R3予算額(千円)		R3決算見込額			
5,349		5,659			
		R4予算額			
		5,793			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点 ☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下) (評価の根拠) 乳児相談及び幼児健診では、感染症対策の一環として1回の健診等に案内する人数を制限していることに加えて、風邪症状などの体調不良がある場合には受診を控えていただいていることから、受診率は例年より低下している。だが、未受診者には電話や訪問等で発育発達状況を把握し、保護者の不安についても確認して、必要な支援につなげることができた。 (課題・問題点) 感染症対策の一環として1回の健診等に案内する人数を制限していることに加え、風邪等の体調不良時に受診を控えていただいていることから、受診率が低下している。
-------------------------------	--

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 引き続き、感染症対策を行いながら、未受診者には電話や訪問等で受診勧奨し、受診率向上に努める。また、健診時に父親の来所も増えているため、夫婦で協力して育児ができるように働きかけ、必要に応じて関係機関の相談に繋げる。
---------------------	---

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 未受診者に対しても個別訪問等するなど、寄り添った対応をしている。 (課題・問題点) 父親の参加者数の把握をお願いしたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・コロナ感染対策をしながらほぼ目標達成している。 ・前年度より少しは低下しているが、未受診者に対しての対応をきちんとしている。			
改善策等の提言			
・父親の参加理由及び人数把握をお願いしたい。 ・1回の健診の案内の人数制限をしても、受診日を増やすなどの方法はとっていないのか？これからも、夫婦で協力して、育児ができるよう働きかけを願う。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	・「もばらで子育てガイドブック2021」の発行、配布 ・各種相談、訪問業務の実施

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女が協力して子育てできるよう子育てガイドブックの配布、ブックスタートの充実、市公式ウェブサイトの活用による子育て支援に関する情報提供に努めます。また、育児や養育に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、赤ちゃん訪問や家庭児童相談員による家庭訪問等で対応していきます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	「もばらで子育てガイドブック」の配布数 年2,500部以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・もばらで子育てガイドブックの配布と作成を行う。 ・茂原市ウェブサイトを活用し、情報提供に努める。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・「もばらで子育てガイドブック2021」を発行し、子育て支援課や関係部署の窓口で配布。また、市公式ウェブサイトとスマートフォンアプリ「マチイロ」で配信を行った。 ・「もばらで子育てガイドブック2022」の発行に向けての編集作業を行った。 ・子育て相談や養育支援訪問事業を実施し、適切な子育て環境が整えられるよう支援を行った。		配布冊数 2,500部	子育て相談76人(男51人、女25人)		
		子育て相談 回22数	養育支援訪問11人 (全員女性)		
		養育支援訪 問回数81回			
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
「もばらで子育てガイドブック」の配布数 2,500部					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
	(評価の根拠) 概ね当初の計画どおりガイドブックの発行及び配布、事業の実施、相談等を実施できた。 (課題・問題点) 子育て相談への希望者の増加に伴う相談日回数のに見直し。	

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	「もばらで子育てガイドブック2022」の発行、配布 相談業務及び訪問支援業の実施

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標値を達成している。 (課題・問題点) 担当課に同じ		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・目標値は達成されている。子育て相談や養育支援訪問を充実して、より子育て環境が整えられるよう努力されたい。 ・ガイドブック発行ばかりでなく、公式サイトなどへの配信を行っている。			
改善策等の提言			
・「もばらで子育てガイドブック」の使い勝手や増やしてほしい子育て支援策を、当事者から聞き取って改善し続ける体制ができたら理想。 ・課題・問題点として、子育て相談への希望者への対応をあげているので、その課題へ具体的に取組を行うことを望む。 ・これからも、若い方々にあった情報提供の強化や、相談日の増加などをして、子育てをしやすい環境をつくってほしい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	今後も関係機関との連携や情報共有を密にし、児童虐待への対応並びに相談業務の充実を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	夫婦で子育ての不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや市公式ウェブサイトを活用して相談業務の周知を図るとともに、子育て支援課(子育て家庭相談室)及び保育所・幼稚園・保健センターなどの身近な施設において、育児・子育てに関する相談に対応します。また、児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	個別支援会議 年50回以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①実務者会議を開催(年6回)し、関係機関との情報共有、連携強化を図る。 ②電話や窓口だけでなく、家庭内や公共施設等を活用した訪問相談を行う。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①代表者会議		①1回	①21人(男16人、女5人)		
②実務者会議		②6回	②128人(男56人、女72人)		
③個別支援会議(要個別支援者数67人)		③43回	③386人(男142人、女244人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
①代表者会議 1回					
②実務者会議 6回					
③個別支援会議 43回					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 代表者会議や実務者会議を実施し、必要に応じ個別支援会議を開催し、関係機関と情報共有を行い、対応方法や役割分担を協議し、相談業務の充実に努めた。 (課題・問題点) 実務者会議での支援対象児童数の増加に伴い、事例検討に長時間を要すること。また、相談件数の増加に対応するため、配置職員人員の補強。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も関係機関との連携や情報共有を密にし、児童虐待への対応並びに相談業務の充実を図る。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 概ね目標値を達成している。各会議の女性参画が出来ている。 (課題・問題点) 担当課に同じ		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
概ね目標は達成できている。			
改善策等の提言			
・児童の専門職の増員を図りたい。 ・課題・問題点のところに、「事例検討に時間を要すること」「相談件数の増加に対応するために配置職員人員の補強」とあるが、改善のところには、これらの課題への具体的な対応策が示されていない。課題・問題点への取組が望まれる。 ・相談事業について、広報活動の充実を図りたい。 ・児童虐待の相談や、緊急性の高い事案への対応方法(休日や、夜間)は関係機関との連携をより強化して取り組んでもらいたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	移動式赤ちゃん休憩室の貸出	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	子育て世代が屋外におけるイベント等へ赤ちゃん連れで安心して外出することができるよう、イベント主催者等に対して、移動式赤ちゃん休憩室を無償で貸し出します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数 年4回以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①各種団体等へ市公式ウェブサイト等で周知・啓発 ②自治会長ハンドブックに掲載し、周知・啓発

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①市民活動交流会において団体へ周知 ①市公式ウェブサイトにて周知 ②自治会長ハンドブックに掲載(令和3年6月)		4回			
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数 3回					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のための団体等の主催イベントが相次いで中止となる状況であるため、貸出件数は少ないが、いつでも赤ちゃん休憩室の需要に応じられるよう整備している。 (課題・問題点) 移動式赤ちゃん休憩室の貸し出しについて、引き続き広く周知が必要である。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	赤ちゃんを連れた子育て世代が屋外におけるイベント等へ安心して外出できるよう支援するため、主催者に成り得る団体等や市民に対して移動式赤ちゃん休憩室の周知を引き続き継続し、積極的な活用を促す。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
(評価の根拠) 目標値を達成している。需要に応じられるよう整備している。 (課題・問題点) 貸出について更に周知されたい。季節に応じて冷暖房機器等の貸出しも併せて検討されたい。利用者の意見の把握もお願いしたい。			
重点評価事業			
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点			
項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】	
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】	
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】	
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・イベントの開催件数が少ない中で貸出件数が3回あり、ある程度の成果があったと思う。 ・需要に応じられるよう整備している。			
改善策等の提言			
・利用者の声を集め参考にしてより良い整備に努められたい。 ・貸し出しの宣伝活動をさらに進め、利用を必要とする母親に周知が必要である			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	病児・病後児保育については、茂原市内での実施のため、引き続き検討を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	子育てと仕事が両立できるように延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業、ファミリーサポートセンター事業の充実に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	延長保育の実施時間を延長する保育施設 現計画の中に2カ所 一時預かりを実施する保育施設 現計画の中に3カ所 病児・病後児保育を実施する保育施設 現計画の中に1カ所
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	酒井医院病児保育所「ラッコッコ」との委託契約及び市内医療機関での病児保育実施のための検討

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	・延長保育の実施時間延長については、引き続き豊田保育所にて実施した。 ・一時預かりについては、引き続き朝日の森保育所(余裕活用型)にて実施した。 ・病児・病後児保育については、引き続き白子町の酒井医院との委託により実施した。				
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・延長保育の実施時間を延長する保育施設 1カ所 ・一時預かりを実施する保育施設 1カ所 ・病児・病後児保育を実施する保育施設 1カ所				
	R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		
	3,069	3,069	3,710		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 病児・病後児保育事業について、白子町の酒井医院に委託により実施することで、茂原市民の利用料が値下げされ、利便性が高まった。また、延長保育、一時預かり保育についても、一定程度保護者のニーズに応えることができた。 (課題・問題点) 茂原市内での病児・病後児保育の実施。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	延長保育の時間延長については、他の保育所も実施可能か検討する。 一時預かりについては、令和4年度より朝日の森保育所に加えて鶴枝保育所(一般型)でも実施する。 病児・病後児保育については、茂原市内での実施のため、引き続き検討を行う。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 数値目標に向かって実施されている。 (課題・問題点) 引き続き市内での病児・病後児保育の実施に努めていただきたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
・ファミリーサポートの現状は、まだ課題があるが、概ね目標値は達成されている。 ・延長保育の実施時間を延長する保育施設が一か所のみにとどまっている。		
改善策等の提言		
・他市町村の例を参考にし、市内での病児病後保育が実施できるよう努めてほしい。 ・延長保育については数か所の施設で延長出来るように検討されたい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	・本納小学校の移設に伴う、本納学童クラブの移設 ・公設学童クラブと民設学童クラブの利用料や運営についての差の是正

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	学童クラブでは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、授業の終了後等に公共施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。また、国の「放課後子どもプラン」において学校施設の徹底的な利活用が定められていることから、教育部門と連携し、小学校の余裕教室等を利用した保育環境の向上を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・学童保育の開設場所 現計画中に20カ所 ・学童保育の児童数 年650人
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①本納小学校の移設に伴う本納学童クラブの移設 ②利用料及び運営についての格差是正についての検討

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①本納小学校の移設に伴い、本納学童クラブを移設した。 ②公設学童クラブと民設学童クラブにおける利用料等の格差是正に対する補助金の増額を検討した。 ③令和2年度に引き続き、補助金を活用し公設学童クラブに新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消耗品・備品の購入を行うとともに、民設学童クラブ事業者には新型コロナウイルス感染症防止対策に要する経費の補助を実施した。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・学童保育の開設場所20カ所(公設6カ所 民設12カ所 認可外2カ所) ・学童保育の児童数 578人(公設及び民設)					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
70,199		79,193		144,953	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 本納学童クラブの移設や、新型コロナウイルス感染症対策の経費補助による運営者の負担軽減など計画どおりに実施することができた。 (課題・問題点) 東郷小学校区や萩原小学校区など小学校区によっては待機児童が見込まれることから、学校施設の活用など新たな実施場所の確保による待機児童の解消が課題である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	東部小学校区への学童クラブ専用保育室の新設および待機児童の見込まれる小学校区における、小学校の施設活用や建物の整備などによる待機児童の解消に向けた検討を行う。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標通り達成している。 (課題・問題点) 引き続き待機児童の解消に努めていただきたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・学童保育の開設や学童保育の受入数など設定の数値目標は達成されている。 ・運営者の負担軽減に努力している。			
改善策等の提言			
・今後は、学童保育含めてだけでなく学習支援などの取り組みを検討されたい。 ・引き続き、待機児童の解消に向け建物の新設・整備等、努力されたい。 ・課題・問題点として待機児童の解消があがっており、改善として、小学校の施設活用や建物の整備などのよる待機児童の解消に向けた検討を行うとある。検討にとどまることなく、具体的な工夫と対策を行うことが望まれる。 ・新設する場合、テナントや遊休施設を改装して経費を抑えたり、工期も短縮できるし待機児童の解消につながると思う。また、児童が少なくなった場合、閉鎖することも容易な為、多額を投じて新築する必要性を感じない。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(3)介護支援の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	委託型地域包括支援センターにおいて、適切に高齢者や家族等からの相談に応じるとともに、広報掲載等を通じて地域包括支援センターの周知をはかることとしたい。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	介護を必要とする人とその家族にとって、身近な相談窓口となる地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに設置し、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から総合的に支えます。各地域住民へ、地域包括支援センターを広く周知し、相談窓口の充実に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

・市内4カ所の委託型地域包括支援センターで、高齢者の総合相談を実施する。
・広報、ホームページ、冊子の窓口配置により周知。
・総合相談の後方支援、地域包括支援センター運営協議会や事業評価等を通じ、機能強化を図る。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	・市内の委託型地域包括支援センターで高齢者や家族等からの相談対応を行った。 【令和3年度延相談件数(令和3年4月1日～令和4年1月31日まで)】 茂原市みなみ地域包括支援センター 1,730件 茂原市ほんのう地域包括支援センター 1,632件 茂原市ちゅうおう地域包括支援センター 1,821件 茂原市もばら地域包括支援センター 2,329件				
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		

96,941 96,874 101,456

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 市内4カ所の委託型地域包括支援センターが、高齢者や家族等からの相談に応じることで、介護支援の充実、ワークライフバランスの推進を図ることができた。相談件数は昨年度よりも増加しており、地域住民に相談場所として地域包括支援センターが以前よりも周知されているように感じる。 (課題・問題点) 地域包括支援センターの周知活動を今後も継続する必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き委託型地域包括支援センターにおいて、適切に高齢者や家族等からの相談に応じるとともに、広報掲載等を通じて地域包括支援センターの周知を図ることとしたい。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

相談件数の増加から、広く周知されていることが伺える。

(課題・問題点)

引き続き広く周知すると共に、必要な方達に届く周知の仕方を検討されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

いずれの地域包括支援センターにおいても、相談件数が相当あり、センターの周知が図られていると評価できる。

改善策等の提言

・介護を必要とする高齢者は増加傾向にあり、抱える世代への周知も大切になってくる。以前、どこに相談して良いか分からなかったと相談されたことがあった。SNSの活用も含めて、ぜひいろいろな機会での周知を図ってほしい。

・各地域包括支援センターの相談件数の内容の分析が行われておらず、件数のみの評価を成果としている。問題なのは、単に件数だけではなく、どのような相談があり、その内容を典型的に分類し、傾向を分析すべきである。これを、地域包括支援センターにやらせるのではなく、行政が行うこと。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	認知症高齢者と家族等への支援の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(3)介護支援の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	感染症予防対策を取り入れながら、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう認知症サポーターの養成を幅広い年代で促していく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「認知症サポーター」の養成を図ると同時に、サポーターとしての支援活動に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」を実施していきます。また、認知症サポーター養成講座受講者が地域で活動する「チームオレンジ」の啓発を行い、本市でチームオレンジが立ち上がるよう支援活動を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①認知症サポーター養成講座の開催 年6回 参加者100人。
②コロナ禍により、多様な人が集まることが難しい状況にあることから、R3年度は企業等の団体を中心に働きかけを行う。
③認知症サポーター養成講座受講者に認知症サポーターカードを配布する。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①認知症サポーター養成講座を開催した。小学校は市内2カ所で開催した。講座を受講した人に対しては認知症サポーターカードを配布した。	①7回 ①1回	①183人(男82人、女101人) ①40人(男13人、女27人)		
	①過去に認知症サポーター養成講座を受講し、ほっとみまもり隊として登録した人を対象に、継続的な学習の機会を確保するためフォローアップ講座を開催した。				
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)

R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額
269	236	242

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍で今年度の前半は認知症サポーター養成講座を開催できなかったが、11月頃から再開しはじめ、令和3年度の取り組み計画の年6回の開催は達成することができた。また今年度は小学校でも2カ所で開催できた。 (課題・問題点) 今年度は2カ所の小学校で講座を開催することができたが、今後も他の小学校での開催を増やしていきたい。また、中学校では未だ開催できていないので開催できるようにしていきたい。コロナウイルス感染も再び増加しているため、感染状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	講座のオンライン開催、少人数での開催等コロナウイルス感染予防対策を取り入れ、幅広い年代の人たちが講座を受講できる機会を増やす。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標値を達成している。 (課題・問題点) 幅広い年代の方達が受講できるよう、周知及び開催の方法を検討されたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・養成講座などを小学校でも開催し、子供たちにも認知症に関する知識を広めている。 ・養成講座の開催回数、参加人数とも、数値目標を上回っており、十分な成果をあげたと評価できる。			
改善策等の提言			
・認知症サポーター養成講座の修了者による「ほっとみまもり隊」や「オレンジチーム」に対する、具体的な活動内容の提起がないので、名ばかりではなく、地区ごとに「ほっとみまもり隊」を設立し、どのような任務があるかを明確にすること。 ・「ほっとみまもり隊」は民生委員協議会と地域包括支援センターと連携し、具体的には民生委員の「見守り活動」に参加し、補助要員として活動に参加されたい。 ・サポーター養成講座のみの開催でなく、実際の活動につながるサポートも考慮してほしい。 ・次年度の取り組みとおりコロナ禍の中でもオンライン開催等を視野に入れて受講者を増やすように工夫されたい。 ・中学校での開催も望む。 ・計画に「企業等の団体を中心に働きかけを行う」とあるが、具体的にはどのような団体にどのような働きかけを行ったか不明。結果として数値目標は達成されているが、どのような団体にどのような働きかけを行ったか分かると、なお良い。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	29	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	市公式ウェブサイトへの情報提供やリーフレット配布について、随時積極的に行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスについて、広報もばら・市公式ウェブサイトなどを活用し、市民への意識啓発を図るとともに、市民一人ひとりが人生の各段階に応じて多様な働き方の選択ができるよう情報提供を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①国・県や関係団体の啓発リーフレットを情報公開コーナーや窓口で配布する。
②市公式ウェブサイトのワーク・ライフ・バランスについてのページを充実させる。

D O (実施)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①国・県や関係団体の啓発リーフレットや各種セミナー等のチラシを公共施設に配架した。 ②市公式ウェブサイトの更新を行った。 ③千葉県男女共同参画地域推進員事業(東上総地域)として講演会「笑って考える男女共同参画～男の家事が世界を救う～」開催(講師:瀬地山角氏(東京大学大学院教授))【事業No.6再掲】	①適宜 ②1回 ③1回	③茂原市会場視聴者数4人(男1、女3)※講演会全体の参加者は57人(県による集計)		
	R3年度の数値成果	R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		

0 0 0

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ワーク・ライフ・バランスについての情報発信を行うことができた。 (課題・問題点) ワーク・ライフ・バランスについての言葉の認知度は、R1市民意識調査の時点で67.3%となっている。この市民意識調査では、ワーク・ライフ・バランスについての設問が「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」という言葉を知っているか、「性別に関わらず仕事と家庭を両立していくためにはどのような環境整備が必要だと思うか」の2つだけであり、実際に市民一人ひとりがワーク・ライフ・バランスを実現できているかを問う設問がないため、現状を把握することができていない。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	これまではワークライフバランスという言葉の意味やその価値・目的等、基本的知識についての啓発を行ってきたが、今後は市民一人ひとりが実際にどう行動すればそれが実現できるのか、実践的知識の啓発に取り組んでいく。これに伴い、実際に市民一人ひとりがワーク・ライフ・バランスを実現できているのかどうかについて把握する方法を検討する。

【2次評価】推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
ある程度周知はできている。
(課題・問題点)
現状把握に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・ワークバランスの市民への意識向上のため関連する団体への情報発信は重要でありさらに強化が必要。
・「ワークライフバランス」という言葉が散りばめられているが、最初から最後まで具体性が感じられない。
・パンフレット配布、ウェブサイトの更新等は実施できている。

改善策等の提言

・市公式ウェブサイトについて、他市を参考にするなどして内容の充実に努められたい。
・既存パンフレットの配布、ウェブサイトの更新等を行っているが、漫然と行っているような印象を受ける。一般的に「ワークライフバランス」は主に勤労者(あるいは勤労者世帯)に関するものであるが、「市民への推進」となっており、施策のターゲットそのものが曖昧であるように見える。まずは、施策のターゲットを明確とする必要があるのではないか。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	30	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ、千葉県が取り組む「社員いきいき！元氣な会社宣言企業」(市内10社が登録)等の情報発信を強化する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努めるとともに、広報もばら・市公式ウェブサイトなどを活用し、「県男女共同参画推進事業所表彰制度」の周知を行い、企業等の積極的な取り組みを促進します。また、各事業所において長時間労働の是正や育児・介護休業取得率向上等の両立支援の取り組みが促進するよう啓発を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	千葉労働局等と連携し、ワークライフバランスや働き方改革等のセミナー開催等の情報やそれに取り組む企業の情報を、市公式ウェブサイトや市及び茂原商工会議所等の関係団体の発行する広報誌への掲載及びパンフレット等の配布により周知に努める。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有 ・ 無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
関係機関と連携を図り、働きやすい職場づくりに取り組む企業の紹介や、「働き方改革」、「ワークライフバランス」、「県男女共同参画推進事業所表彰制度」について市公式ウェブサイトへ掲載し、パンフレットの配架による情報発信を行った。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 「社員いきいき！元氣な会社宣言企業」の紹介、国、県の施策を一元的に公式ウェブサイトへ掲載した。 (課題・問題点) 情報発信が公式ウェブサイトに残っているため、SNS等活用し情報発信の強化をする必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	千葉県の「ワーク・ライフ・バランス取組状況調査」を活用し、効果的な情報の発信、制度の周知に努める

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
周知方法が市公式ウェブサイトに残っている。
(課題・問題点)
「社員いきいき！元気な会社宣言企業」のメリット・デメリットを含めて周知し登録企業の増加に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・事業所を対象にした具体的な周知方法がとられていない。
・ウェブサイトへの掲載にとどまっており、工夫がみえない。

改善策等の提言

・新型コロナの影響もあり、茂原市内の企業も生き残りに大変苦慮されていることと思う。この環境の中で「社員いきいき！元気な会社宣言企業」のメリットを強く打ち出した周知活動をされてはどうか。
・働きやすい職場作りに取り組んでいる企業の紹介を広報もばらに掲載したり、茂原市独自の「男女共同参画推進事業所表彰制度」を検討されたい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	令和3年4月以降、職員の出退勤及び時間外勤務等を管理する「勤務管理システム」が本格稼働するため、超過勤務時間の把握等に活用し、働き方改革を推進したい。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市職員自らワーク・ライフ・バランスを実践できるよう、意識啓発を行います。また、特定事業主行動計画に基づき、各種休暇・休業制度及び育児・介護休業が男女共に偏りなく活用できるよう働き方改革の目標と併せて職業生活と家庭生活との両立を支援します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	特定事業主行動計画の実施状況の公表 年1回
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①「特定事業主行動計画」に基づき、職業生活と家庭生活との両立が図れるよう時間外勤務の上限規制を行い、年次有給休暇取得を促進することにより、職員の健康管理・公務能率の向上を図る。 ②育児・介護休業等の休暇・休業制度の周知に努め、休暇取得率向上を図る。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①職員に対して年休取得状況及び年休等取得促進通知を行うとともに時間外勤務の上限規制を行ったことで、仕事と家庭生活の両立への意識づけを促した。また、超過勤務者の健康状態を把握するため産業医等との面談を実施し、本人及び所属長に適切な指導をした。		年1回			
②子の出生時及び育児・介護休業取得時に制度及び支援内容の周知に努め、休暇取得率向上を図った。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
特定事業主行動計画の実施状況の公表 年1回					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 特定事業主行動計画の数値公表を行い、男女性差なく仕事と家庭生活の両立ができるよう意識改革に努めた。 (課題・問題点) 超過勤務の多い職員に産業医等が面談を実施し必要な指導をしているが、コロナ感染症予防対策のため想定以上の超過勤務があった。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	ワーク・ライフ・バランスの実現にむけて、各種休暇の取得を促進するとともに超過勤務時間が減るよう職員への周知に努める。また、休暇の取得しやすい職場環境整備に努める。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

数値目標を達成している。

(課題・問題点)

引き続き周知を図るとともに、数値目標(年1回)を見直しを検討されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・市職員のワークライフバランスは、政策実施主体として積極的に推進しなければならない。より具体的に成果を上げるため職員組合との協議を行い推進するという視点が読み取れない。

・特定事業主行動計画の実施状況の公表、超過勤務者の産業医による面談の実施は評価できるが、法律の義務を果たすことにとどまっている。

改善策等の提言

・職員が各種休暇を取得しやすいように人員を増やすことも必要かと思う。経費削減は人件費から導入されることが多いが、役場に関してより良い市民サービスの為、職員の健全な職場環境整備のためにも人員は増やすことが大切かと思う。

・「改善」の欄に、「各種休暇の取得を促進するとともに、超過勤務時間が減るよう職員への周知に努める」とあるが、個々の職員に周知をしたところで、休暇取得促進や超過勤務時間削減ができるものではない。幹部や上司を含めた職場全体、庁全体で取り組まないとことには、進められない。また、「休暇の取得しやすい職場環境整備に努める」とあるが、施策の具体性が全く無い。具体的な内容を伴った施策の展開が必要でないか。予算ゼロでも庁内のことであるので、取組を進められるのではないかな。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知とポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲 国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させるとともに、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努め、一般事業主行動計画の策定を促進する。
---------------------	---

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画 男女共に仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図ります。また、商工会議所等の関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促します。 第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度及びポジティブアクション関連の情報を、市公式ウェブサイトや市及び茂原商工会議所等の関係団体の発行する広報誌への掲載及びパンフレット等の配布により周知に努める。
--------------------------	--

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
関係機関主催によるセミナーや法制度に関するチラシ等の案内を窓口などで配布し、市公式ウェブサイトを活用し、情報の発信に努めた。					
配布資料(参考) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定しましょう！ 女性活躍推進法に基づくえるぼし認定 プラチナえるぼし認定のご案内 等					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額			
0	0	0			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点 ☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下) (評価の根拠) 国・県等の施策に関する情報を、効果的に情報発信することができた。 (課題・問題点) 情報発信が公式ウェブサイトにとまっているため、SNS等活用し情報発信の強化をする必要がある。
-------------------------------	---

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させるとともに、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努め、一般事業主行動計画の策定を促進する。
---------------------	---

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 情報発信はできている。 (課題・問題点) 担当課に同じ		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
・効果的な情報発信とは、どのような内容か？具体的に書かれていたらと思う。 ・市公式ウェブサイトでの発信だけにとどまっている。		
改善策等の提言		
・情報発信はされているようだが、情報の受け手の認識が問題と思う。この活動に取り組むとどのようにメリットがあるかも周知したらどうか。 ・商工会議所等の関係団体が発行する広報誌への掲載依頼も必要と思われる。企業経営者が集まる窓口に掲載依頼すると共に一般事業主へ行動計画の策定について協力依頼する。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	千葉県ジョブサポートセンターと連携し、新型コロナウイルス感染症に配慮した形で再就職セミナーを開催する。 開催にあたり、ハローワーク等との関係機関と更なる連携を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	県及び関係機関と連携し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報提供を実施します。また、広報もばら・市公式ウェブサイトを利用し、就業相談窓口の情報を提供するとともに、女性の就職・再就職等のための相談事業の支援を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	セミナー等の開催 年1回
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①千葉県ジョブサポートセンターと連携し、女性の再チャレンジ支援のセミナー開催等の情報を、市公式ウェブサイトや市及び茂原商工会議所等の関係団体の広報誌への掲載及びパンフレット等の配布により周知に努める。 ②千葉県ジョブサポートセンターと連携したセミナーや講習会の開催を支援する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有 ・ 無 ）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①市ウェブページの構成を施策体系に沿って整理し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報発信を強化した。 ②「千葉県ジョブサポートセンター」の講師派遣事業を活用し、全年齢対象の再就職支援セミナーを開催した。		②1回	②10人(男4人、女6人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
セミナー等の開催 1回					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 性別年齢による区分けのない再就職セミナーの開催をし、6人の女性の参加があった。 (課題・問題点) 再就職支援については、引続きハローワークと連携強化を図る必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	千葉県ジョブサポートセンターと連携し、ニーズに応じた再就職セミナーを継続して開催する。 マザーズハローワークや千葉県ジョブサポートセンター等の就職支援機関と支援業務の情報発信をさらに強化する。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
セミナー参加者に6名の女性がいた。
(課題・問題点)
更なる情報発信に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・セミナーを開催しているが、昨年より参加者が減っている。(一昨年より少し増えているが)女性6人参加とあるが、一昨年から変わっていない。
・セミナー1回開催という目標は達成できているが、目標が低いのでないか。

改善策等の提言

・セミナーに男女の参加があった。数値目標の見直しをされたい。セミナーの開催を最低でも年2回に。
・「就労支援機関と連携強化を図る必要がある」としているが、どのような連携を図るかについて施策の具体性が見えてこない。予算がゼロなので限界はあるが、もう少し、具体的に検討する必要があるのではないかと。
・マザーズハローワークは茂原にはないが、茂原にある通常のハローワークとの連携も検討すればよいのではないかと。
・情報発信は大切だが、その後どのように受け止められているのかが必要なのでは？

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業家の育成	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	(4) 農業・自営業等における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	女性農家に対し、起業に対する周知や研修等の参加を呼びかけ

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	女性農業者グループ「麦の会」が郷土料理や地元農産物をPRすることにより、地産地消や食事への取り組みを促進します。また、女性起業家を育成するため、女性農業者に県主催の起業講座や研修会への参加を促進するとともに、6次産業の補助金制度等の情報を提供します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	女性の新規農業起業家数 年1人以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①「もばらふるさと塾」において市内で活躍している農業者や「麦の会」との交流を行い意識の啓発に努める。 ②市内の女性農業者に各種講座や研修会への参加を促し知識や技術の向上を図る。 ③起業を目指す女性に対し6次産業の補助制度等の情報提供を行う。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有 ・ 無 ）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、取り組み方法の変更や、中止を余儀なくされ、その分事業達成に向け、現状に即し、ウェブを活用した新たな取り組み内容を検討した。 ・女性農業者や夫婦でも参加できるオンライン講座の案内を、JA長生と連携して実施した。		—	—		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
女性の新規農業起業家数 0人					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
75		0		60	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)目標値には至らなかったが、達成するためにも、まず市で認定する農業者(認定農業者)となることが必要と考え、女性の農業者に対し周知を行ったところ、今年度新たな女性の認定農業者が誕生した。本市の取り組み実績として、3年前に女性初の認定新規就農者が誕生しており、それ以降、様々な周知や啓発を行っていた結果が実を結び、新たな認定新規就農者が誕生した。 (課題・問題点)目標を達成するためにも、まず農業に関心を持つ女性を増やすことの検討が必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	女性が農業に関心を持つ、きっかけを作る取り組みを検討する。

【2次評価】推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

数値目標が達成できていない。

(課題・問題点)

次期計画の際は、数値目標の設定を見直してはどうか。

具体的取り組みを示してほしい。情報発信を進めるとともに、研修会参加人数などを評価の参考にできるのではないか。

重点評価事業

【3次評価】推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

- ・オンラインの講座などを案内して努力はうかがえるが、ここ数年新規起農者は0人。
- ・目標が未達成である。

改善策等の提言

- ・市の認定農業者を交えて、女性農業従事者の研修会を定期的を開催してはどうか。
- ・農業に関心を持っている女性はいるので、担当者の改善取り組みを多様な形でぜひとも行ってほしい。
- ・「評価」の欄に「目標を達成するためにも、まず農業に関心を持つ女性を増やすことの検討が必要である」とあり、また、「改善」の欄にも「女性が農業に関心を持つきっかけを作る取組を検討する」とあるが、「検討」ばかりが並んでおり、具体的な施策が示されていない。「改善」の欄には、検討の結果としての「施策」を記することが望まれる。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	(4) 農業・自営業等における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	農家に対し、家族協定の紹介と周知を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	家族農業経営について、経営方針や役割分担等、家族みんなが働きやすい就業環境を整備するため、家族間で取り決める「家族経営協定」の締結を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	家族経営協定の新規締結数 年1件以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	県と協力し、認定農業者、認定新規就農者の申請や更新の時に説明を行い、家族経営協定の推進を図る。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
・専門知識をもった県農業事務所担当者の同席のもと、家族経営協定を検討している対象者に対して、改めて協定の醍醐味や実働の面談を行った。		適宜			
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
家族経営協定の新規締結数 0件					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 対象者に対して、県農業事務所の担当者による面談を行ったことにより、家族経営協定についてのメリットや、制度に対する内容を改めて説明することができた。また、我々担当課においても、本市における農業の実情に基づき、家族協定に限らず、男女共同参画の取り組みとしてどのような事ができるかの、再検討を行った。 (課題・問題点) 農業の担い手不足が進み、農業者全体の数が低下していることに伴い、農業を夫婦や家族ぐるみでの営み、家族協定の対象となる候補者の選定が困難となっている。		
A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	引き続き家族協定の締結に向けて取り組みを行いつつ、本市における農業の実情に基づき、農業に関連した女性が活躍する事業に取り組んでいく。		

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 締結数がゼロのため。 (課題・問題点) 家族経営協定の内容に、男女共同参画の趣旨を取り入れられたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☒ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・締結数は0であるが県の担当者から家族協定について説明を受ける機会を対象者に行うことができた。 ・目標が未達成である。			
改善策等の提言			
・「改善」の欄に「農業に関連した女性が活躍する事業に取り組んでいく」とあるが、具体的にはどのような事業を想定しているのか不明である。具体的な内容を持った施策の提示が望まれる。 ・家族協定の締結に向けて引き続き取り組みをすると共に確定申告の際のメリット等についても研究して締結につなげられるよう工夫されたい。 ・大変な案件と思う。協定のメリットをもっと強く押し出さないといけないかもしれない。協定の手続きは大変なことではないのか。メリットが明確で手続きもそう大変でなければ、家族経営協定締結につながると思う。なぜ、家族経営協定締結につながらないか、農家に確認することも必要と思う。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	高齢者の自主活動への支援	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(1) 高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	長寿クラブ連合会や長寿クラブ連合会の事務局である茂原市社会福祉協議会と連携をはかり、周知や活動支援等を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	高齢者がいきいきと健康的に過ごすためには、フレイルを予防し、社会参加や運動の機会等を持つことが重要です。そのため、生活支援コーディネーターと連携し、地域で自主的に行われている、通いの場の把握や情報提供を行います。また、自宅から近い場所で通えるよう、男女問わず簡単に実施できる「もばら百歳体操」の実施を地区社会福祉協議会へ委託するとともに、通いの場を増やすため、「もばら百歳体操」を新たに実施する団体へ補助金を交付します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・社会福祉協議会もばら百歳体操参加者数延 年2,500人以上 ・補助金交付団体 年2団体以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①社会福祉協議会にもばら百歳体操の業務委託を行い、新型コロナウイルス感染症に留意しながら実施を依頼する。 ②もばら百歳体操の普及啓発のため広報やホームページの掲載を行う。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①社会福祉協議会もばら百歳体操等に対し、厚生労働省が作成した「通いの場に参加するための留意点」のチラシを配布し、感染症予防の支援を行った。 ②広報やホームページの他、「オンライン通いの場」アプリケーションにもばら百歳体操の動画を掲載し、普及啓発を行った。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・社会福祉協議会もばら百歳体操参加者数延 2,268人(R3.9末) ・補助金交付団体 0団体					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
2,683		2,183		2,608	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C: 事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 感染症予防支援を行いつつ、もばら百歳体操の普及啓発を行うことが出来た。 (課題・問題点) コロナ禍において、もばら百歳体操等通いの場の新規立上には至らなかった。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	長寿クラブ連合会や長寿クラブ連合会の事務局である茂原市社会福祉協議会と連携をはかり、周知や活動支援等を行う。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 計画での目標値の達成度合から判断。 (課題・問題点) 男女共別の参加人数が把握できないか。女性の介護者を減らすという当初の事業の捉え方に沿って、男女共同参画の事業として考える。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
参加者延べ人数は概ね目標に近い数字を達成できているが、補助金交付団体に係る目標が達成できていない。また、その目標達成に向けた取り組みが見えてこない。		
改善策等の提言		
・男女ともに健康で暮らせるように、男女別の参加人数を把握して欲しい。 ・茂原百歳体操は高齢者が生き生きと健康的に過ごすのに良い施策だと思う。自治会単位で実施できると多くの方達が参加の機会を得られ、高齢者の交流の場にもなるので検討されたい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	令和2年度と同様に取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりという考えのもとに、障害者(児)と介護者のための障害福祉サービスや地域生活支援事業を実施することで、性別にとらわれない介護に対する支援の推進を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、居宅介護、短期入所、同行援護、児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援、移動支援等のサービスを適切に提供する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）						
内容			回数	参加者数(男女別)		
各サービスの総延利用者数 4,181人(R2実績 3,731人)				男女別データなし		
<内訳>				令和2年度実績について サービスの延利用者数はR2.3～R3.2 までの件数 サービスの実利用者数についてはR 3.10分の件数 日中一時支援、移動支援の延・実利用 者数はR2.4～R3.2までの件数		
サービス名	延利用者数	実利用者数				
居宅介護(R3.3～R4.2)	1,033人(930人)	113人(87人)				
短期入所(R3.3～R4.2)	267人(258人)	49人(23人)				
同行援護(R3.3～R4.2)	131人(84人)	13人(9人)				
児童発達支援(R3.3～R4.2)	632人(547人)	80人(43人)				
放課後等デイサービス(R3.3～R4.2)	1,537人(1,415人)	162人(125人)				
日中一時支援(R3.4～R4.3)	439人(401人)	49人(56人)				
移動支援(R3.4～R4.3)	142人(96人)	17人(14人)				
R3年度の数値成果			R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)		R3決算見込額	R4予算額			
449,149		451,396	487,466			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 個々のケースに応じて障害福祉サービス及び地域生活支援事業により適正な支援を実施することで支援体制を整え、社会で支えていくための介護の推進を図ることができた。障害福祉サービスが適切に提供されたことにより、障害児・者の介護を社会全体で支える体制が整備され、介護は女性の役割という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進の一端を担うことができた。 (課題・問題点) 障害福祉サービス等の周知を活動を引き続き行う必要がある。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	関係機関と協働し、障害福祉サービスについての周知活動を行っていく。また、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく各種サービスについては、質の高いサービスを引き続き維持できるよう取り組んでいく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) サービスの利用者数が前年度より増加している。 (課題・問題点) 障害者手帳を持つ人がどのくらい利用しているか不明である。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
・サービスを必要とする対象者数がわからないのでサービスの提供が十分に行なわれているか不明である ・サービスの利用者数は増加している。			
改善策等の提言			
・サービスを必要としている人が実際に利用できているか。障害者と介護者が、利用できるサービスをどれだけ認識できているか。周知方法を検討して欲しい。 ・今後の施策の展開に向けて、利用者の男女別の数値や障害の程度等も把握できるようにするとよい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実及び社会復帰の促進	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	令和2年度と同様に取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供、助言、支援を行うとともに、地域生活支援センター等の関係機関と連携することで、相談支援体制の充実を図り、障害の有無や性別にとらわれない、社会復帰に向けた支援の促進を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①障害者(児)の各種福祉サービス提供や日常生活の相談等を行う。 ②長生地域生活支援センター、生活支援センターつくも、障害者相談員、保健師等により、身体・知的・精神・児童、全ての障害に対応した電話、窓口相談、家庭訪問等の支援を実施する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
令和3年4月から令和4年3月までの延相談件数 6,119件 (R2実績5,247件)					
【内訳】 長生地域生活支援センター 4,600件(R2実績 4,409件) 生活支援センターつくも 316件(R2実績 245件) 障害者相談員 220件(R2実績 179件) 障害福祉課職員(保健師、社会福祉士等) 983件(R2実績 414件)					
※令和2年実績は令和2年4月～令和3年2月まで					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)		R4予算額			
14,072		14,093			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 全ての障害に対する相談支援体制の充実を図るとともに、障害者(児)の家族等が抱えている悩みや問題を相談支援事業により整理することで、障害福祉サービス等の利用に繋げ、社会全体で支える介護の促進を図ることができた。 (課題・問題点) 引き続き相談支援体制の充実をはかる必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	令和3年度と同様に取り組む。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠) 相談件数が前年度より増加している。
(課題・問題点) 相談窓口があることで助かっている方もいるだろうが、相談者数が増えることは良いことか？ SNSも活用されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・延べ相談件数は、前年度比で20%近い増加となっており、取組の成果がみられる。
・障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供や支援と関係機関との連携のなかで相談支援体制が充実できたのか、また社会復帰に向けての支援体制は推進している点を判定したい。
・相談件数は前年度より増えているが内容を分析して次年度の改善策に活かすことが大切。

改善策等の提言

・R3年度の決算見込額が予算額を上まわっているのに4年度の予算額が減少しているのは違和感がある。相談内容を分析して支援体制や支援方法を改善して社会復帰に向けた取り組みを検討されたい。
・相談件数が増加しており、取組みの成果はみられるが、今後の施策の展開のために、相談がどのような支援に結び付いたのかについても報告があると、なおよい。また、男女別の数値の把握も望まれる。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	39	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	精神保健相談の実施及び社会復帰の支援	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲					
	性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。また思春期教室でのリーフレット配布によるSOSの出し方教育や思春期の子どもをもつ保護者向けのセミナー等を開催し、若年層への自殺対策の取組みを強化していく。					
	第4次計画に定められた具体的取り組み計画					
	精神保健福祉士等による「こころの健康相談」や、保健師による「健康相談」、各種健(検)診を通じて、さまざまな悩みや精神疾患を持つ方をはじめとした自殺予防等のための相談を充実させるとともに、精神科病院・保健所等の各相談専門機関や専門家等との連携を図り、こころの健康づくりの支援に努めます。 第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 こころの健康相談 年12回 48人以上 R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①こころの健康相談を年12回実施し、相談者が抱える悩みに対応し必要な機関へつなぐ。 ②ゲートキーパー養成講座を実施し、自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応が出来る人を増やす。 ③こころの健康に関するリーフレット配布により、ストレスへの対処方法や相談先を周知する。					
P L A N (計画)	R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①職員向けゲートキーパー養成講座		①1回	①29人(男18人、女11人)		
	②ゲートキーパーに関する出前講座		②1回	②12人		
	③こころの健康相談		③10回	③22人(男7人、女15人)		
	④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導		④353回	④353人(女353人)		
D O (実施)	⑤職員健診におけるメンタルヘルスに関するチラシ配布及び思春期教室でのチラシ配布		⑤170回			
	R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	こころの健康相談 10回 22人					
	R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
	490		397		420	
C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点					
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)					
	(評価の根拠) 性差やライフステージに応じた保健事業により、対象者を支援することが出来た。 (課題・問題点) コロナ禍における自殺の動向に関する分析によると、失業による生活苦が原因の自殺が多い傾向にあり、男性では40～59歳の中年、女性では20～39歳の若年が多かった。経済困窮者に対して、関係機関と連携し総合的に支援していくことが必要である。					
A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定					
	性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。また思春期教室でのリーフレット配布によるSOSの出し方教育を行い、若年層への自殺対策の取組みを強化していく。					

【2次評価】推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
計画での目標値の達成度合いから判断した。
(課題・問題点)
情報発信方法を広げられたい。

重点評価事業

【3次評価】推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・数値をみると、ある程度の成果をあげていると評価できる。
・次年度の取り組みについて当該年度と同じなので残念。

改善策等の提言

・思春期教育ではチラシ配布だけではなく、もっと直接的な方策を検討されたい。
・社会復帰についてのプログラムの明示が欲しい。「関係機関と連携しながら総合的に支援する」とは内容を具体的に明示すること。
・心の健康相談について自殺を事前に防ぐための対策にもっと力を入れて欲しいと思う。セミナーを開催して相談機関の紹介をするなど工夫されたい。
・ゲートキーパー研修は、市民の精神疾患についての認識を底上げしてこころの病いを抱えている人が生きやすいコミュニティを作るという点で大変意義のあるもので、認知症サポート研修同様小学生から高齢者まで、できるだけ多くの人の受講が望ましいと思う。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	40	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	引き続き、住民参加型の地域防災訓練を開催する予定であり、地域防災力の向上に努める。また、女性や要配慮者に対応した備蓄品の購入を行う。 あわせて、避難所運営においても女性の意見を取り入れた体制づくりの構築を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	地域防災力の向上を目的に、男女のニーズの違いを考慮し、地域防災訓練の実施や避難所運営に関して、女性や要配慮者に配慮した取り組みを進めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①地域防災訓練において、避難所運営について啓発する。 ②備蓄品の更新・拡充において要配慮者に必要な物品を考慮する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有 ・ 無 ）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①地域防災訓練の実施(高師地区)		①1回	①73人(男62人、女11人)		
②女性の意見を取り入れ、避難所に液体ミルクやアレルギー対応ミルクを配備する体制を整えた。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
3,992		3,773		4,204	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)		
	(評価の根拠) 計画通り地域防災訓練が行われ、避難所運営訓練においても男女問わず資機材の組み立て等、協力して実施していた。また、避難所における備蓄品についても、女性の意見を取り入れ、液体ミルク等を配備した。 (課題・問題点) 引き続き、女性等の意見を聞きながら、女性や要配慮者に配慮した避難所づくりを図っていく。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域防災力の向上に努める。また、女性や要配慮者に対応した備蓄品の購入を行う。あわせて、避難所運営においても女性の直近動員職員を配置する等、体制づくりの構築を行う。

【2次評価】推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

1次評価と同じ。

(課題・問題点)

地域防災訓練に女性の参加が少なく、男性に比べて非常時の当事者認識が低いように思えるので、女性の参加を促すための施策を実施されたい。

重点評価事業

【3次評価】推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・地域防災訓練の実施地が一箇所だけにとどまっている。

改善策等の提言

- ・地域防災を担う女子人材の育成を計画されたい。女性や要配慮者に対する配慮された避難所づくりに、これからも努めてほしい。推進委員が提言しているように、女性の参加が少ない。女性自身も認識が薄いのでは？
- ・市公式ウェブサイトの充実を図られたい。
- ・地域防災訓練の実施については、年に1か所でよいかについて検討が望まれる。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	引き続き、新規自主防災組織の設立や活動の支援を行うとともに、女性が参画しやすい出前講座等の機会を創出し、周知を図っていくものとする。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	平常時及び災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、活動の活性化を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	自主防災組織の新規設立 年5団体以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①自主防災リーダー育成の研修会を開催する。 ②既存の自主防災組織に対する資機材補助にあたり、女性の意見を取り入れるように促す。 ③出前講座時に自主防災組織への女性の参加を促す。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）				
内容		回数	参加者数(男女別)	
③出前講座の実施		6団体		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)
自主防災組織の新規設立 2団体				
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額		
3,141	1,148	2,935		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)		
	(評価の根拠) コロナ禍によって自治会等の活動が停滞する中、2団体の新規自主防災組織が設立した。地域防災訓練において女性の参加者の割合が約15%だった。 (課題・問題点) コロナ禍での自主防災組織の活動。地域防災訓練における更なる女性の参加の推進。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	新規自主防災組織の設立を促進するため、相談を随時受け付けるとともに、出前講座を実施する。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☒ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

地域防災訓練の参加者の助成の割合が少ないため。

(課題・問題点)

地域防災の要となる自主防災組織のメンバーに女性の参画を促すことが出来ないか検討されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

- ・女性の参加者が少ないため。
- ・数値から一定の成果を上げていることがわかる。

改善策等の提言

- ・防災グッズは様々なメーカーから出ており、買う時に迷ってしまうため、選び方を教えてもらえる勉強会があると良い。
- ・自主防災組織の設立の促進と防災組織の女性リーダーの養成講座の開催を要請する。
- ・自治会単位で防災についての出前講座を開催して自主防災の意識をたかめる。また、訓練に女性の参加を求めるには時間帯を工夫して実施してみる。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	地域の防犯活動を男女がともに担い参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市公式ウェブサイト等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女が共に担うことにより、地域防犯力の向上を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①自主防犯団体を育成し、活動の助成を行う。
②防犯組合、自治会等と協力し、自主防犯団体の結成を促進する。
③防犯パトロールを実施する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①自主防犯団体に、不審者への警告や自分自身を交通事故等から守ることを目的とし、腕章、防犯キャップを支給した。 ②犯罪を未然に防止し、犯罪のない明るい社会づくりを推進するため、茂原市防犯組合に補助金を支給した。 ③防犯パトロールについては、男女平等な参加を促した。		③防犯パトロール回数: 65回	③防犯パトロール参加者数: 404人(男404人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額			
466	431	512			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 令和3年における市の犯罪認知件数は379件で、令和2年の502件に比べ123件の減となった。コロナ禍ではあるが、各地区において積極的に防犯パトロールを実施していただいた成果であると考え。 (課題・問題点) 現在においては、防犯活動の中心は60～70歳代の男性になっており、幅広い年代の男女の参画が必要となっている。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	地域の防犯活動を男女がともに担い参加を図るために、防犯組合、自治会と連携し、また市公式ウェブサイト、広報もばら、防犯ボックスだより等を活用し、身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成の促進を図る。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 事業としては効果を上げているが、防犯対策に女性としての視点を取り入れることが出来ているか不透明である。 (課題・問題点) 女性が防犯パトロールの実施者とはならなくても、防犯活動を計画する上では幅広い男女の意見を取り入れられるよう工夫されたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
防犯パトロールは一定の成果を上げているが、「自主防犯団体の結成を促進する」については成果がみられない。		
改善策等の提言		
・地域防犯組織において男女が共に担う地域防犯力の向上をどのようにして図るのが課題であり、そのための方策を提案されたい。 ・防犯パトロールと言うと、男性と思ってしまう。推進委員が提言しているように、女性でもできる防犯組織での役割を提示してくれると良いのでは。工夫して行っているところもあると思う。(自治会内でのパトロールには、女性も参加している。男女とも参加人数が減ってしまっているが) ・2次評価に指摘があるように、女性が防犯パトロールの実施者とならなくても、防犯計画の策定等別の形で参画できるような工夫も求められる。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲 各種検診について、市公式ウェブサイトや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布する等周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等においてのPR等、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。
---------------------	--

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の受診勧奨と健康相談、健康教育など疾病予防に向けた保健事業を推進します。また、女性特有のがんの早期発見及び受診率が低い男性への啓発を図ることで、男女共に生涯健康でいられる社会づくりに努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標 ・がん検診の周知・啓発回数 年1回以上 ・がん検診の受診率 肺がん20%、胃がん15%、大腸がん25%、子宮がん35%、乳がん40%
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入 ①4月1日現在年齢40歳の者に対して、市で行う検診の個別勧奨を実施。 ②前回がん検診受診者に対する受診票の自動送付。 ③子宮頸がん検診:4月1日現在年齢20歳全員及び25・30・32・34・36・38歳の検診未受診者に対して無料クーポン券による受診勧奨を実施。その他対象者の個別検診を実施し、受診者のアクセスを拡充。 ④乳がん検診:4月1日現在年齢40歳全員、及び45・50・55・60歳の検診未受診者に対して無料クーポン券による受診勧奨を実施。その他対象者の個別検診を実施し、受診者のアクセスを拡充。 ⑤「各種検診のお知らせ」の自治会回覧による毎戸配布、広報・市公式ウェブサイト・Facebook・市内公共施設におけるポスター掲示での周知。 ⑥他課と連携し、巡回歯科指導での女性がん検診の啓発。 ⑦出前講座等を活用した身近な場所での健康教育の実施。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①②③④⑤計画通り実施できた。 ⑥⑦接触を伴う機会の多い取組みであることから、コロナ禍の影響により実施できなかった。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・がん検診の周知・啓発回数 5回 ・がん検診の受診率 肺がん10.5%、胃がん3.9%、大腸がん7.5%、子宮頸がん12.4%、乳がん17.8%(令和4年2月末時点)					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
100,270		84,145		100,077	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 昨年度に引き続き、コロナ禍により検診体制や講座の機会等に制限があったが、可能な範囲での受診勧奨や啓発を積極的に実施し、成果を上げることができた。 (課題・問題点) コロナ禍においても検診を不要不急とはせず積極的に勧奨し、受診率の増加及び継続的な受診につなげることが重要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定 各種健(検)診について、広報やウェブサイトをより活用して、コロナ禍における健診の必要性や対策等について周知を図る。男女共同参画に資するべく、コロナ禍での制約の中でも可能な限り受診勧奨の機会を増やし、特に女性特有のがんや受診率の低い男性に向けた啓発を行う。
---------------------	--

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)

☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)

☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

目標値については達成していないが、コロナ禍で出来る範囲の普及啓発活動にも取り組まれているため。

(課題・問題点)

検診の受診率だけでなく、男女がお互いの身体のことや健康について理解し合えるような啓発活動にも力を入れられるとよい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準

評価

【項目評価基準】

(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか

3

4…十分達成している 【90%以上】

(b)担当課の自己評価は適切に行えているか

3

3…概ね達成されている 【70%以上】

(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか

3

2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】

(d)適切な数値目標が提示されているか

3

1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)

☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)

☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

コロナの影響で実施できなかった施策もあるが、概ね目標に近いレベルでの成果がえられていると評価できる。

改善策等の提言

- ・受診通知が検診日よりかなり早く届くので受診日を忘れてしまうことがある。一度受診しそこなうと翌年は受信通知がこないの2年受診しないことになる。何か対策をしていただけると受診率も上がると思う。

- ・検診できる場所を増やしてほしい。(なるべく、近いところで受診できるように)

- ・「受診率の低い男性に向けた啓発を行う」とある。これまでも啓発は行っているが、それでも受診率が上がらないのであるから、これまで通りの啓発の繰り返しではなく、何等かの工夫が求められる。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	・感染症対策を講じながら実施ができるよう教室や事業の内容を見直し、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。 ・孤立化しやすい妊産婦に対しては、オンライン等を活用しながら相談業務を充実させ、不安軽減を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	生涯健康に関して安心して過ごせるよう、妊娠期から高齢期の各々の状態に応じた健康相談や家庭訪問を行います。困難事例に対しては、他団体・他機関と連携し、支援します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①妊娠から出産まで一貫した母子保健サービスを地区担当保健師を中心として実施する
②生涯を通じ、自己の健康を適切に管理・改善するための健康教育・健康相談を行う
③電話・面接・家庭訪問を通じてあらゆる世代の人々への健康支援を推進する

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
(1)助産師相談		(1)18回	(1)41人(女31人、男10人)		
(2)ままのわ、ままのわミニセミナー		(2)20回	(2)88人(女73人/男15人)		
(3)ままのわオンラインセミナー(離乳食編・卒乳編・小児救急編・災害編)		(3)14回	(3)42人(女41人、男1人)		
(4)出前講座		(4)9回	(4)125人		
(5)いきいきサロン・長寿会		(5)5回	(5)102人(女68人、男34人)		
(6)健幸フライデー		(6)7回	(6)148人(女125人、男23人)		
(7)思春期教室		(7)9回	(7)585人		
(8)定例栄養相談		(8)12回	(8)230人(女202人、男28人)		
(9)定例歯科相談		(9)12回	(9)65人(女41人、男24人)		
(10)電話		(10)随時	(10)1570件(推計)		
(11)面接		(11)随時	(11)657件(推計)		
(12)訪問		(12)随時	(12)484件(推計)		
(13)オンライン相談(個別相談時)		(13)2回	(13)2人(女2人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R3予算額(千円)	R3決算見込額	R4予算額			
752	585	682			

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染症対策として事業や教室を中止し、計画通りに実施ができなかった。また、実施した事業についても定員数を減らしたので、参加者数が減少している。訪問件数には接触することを恐れ減少したが、電話での相談件数は増加した。令和2年度よりオンラインを活用した教室や相談事業を導入し、受講者が安心して参加できる環境を整えることができた。また、電話や訪問などで連絡が取れない支援者に対し、SNSを活用し、連絡が取れるように工夫した。比較的若い層へのアプローチがしやすくなっている。 (課題・問題点) 新型コロナウイルス感染症の影響により、妊産婦から成人・高齢者含め、あらゆる世代の人々が孤立しやすい状況となっており、不安が高い傾向にある。また、コロナ禍により健康面だけではなく、経済困窮などが浮き彫りになる家庭を支援する機会が増え、他機関と連携する機会が増えた。オンラインで事業に参加した参加者には従来通り、書面でのアンケートを実施していたが、今後はオンラインのアンケートフォーム等を活用していきたい。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	・感染症対策を講じながら実施ができるよう教室や事業の内容を見直し、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。 ・孤立化しやすい妊産婦に対しては、オンライン等を活用しながら相談業務を充実させ、不安軽減を図る

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) コロナ禍においても、SNS等を使って事業を実施している。 (課題・問題点) 男性の健康管理も大切なので、性差なく参加できる工夫をされたい。		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
・コロナ禍の中でも電話相談やSNS等を使って事業の実施につとめている。		
改善策等の提言		
・健康管理課の各種事業に参加したい気持ちはあるが、交通の便が悪くて参加できないものがほとんど。市の施設を循環するバスでもあったら良い。 ・自己評価において問題点・課題のあぶり出しが細かに行われているので、これを生かして具体的な施策の展開を行っていただきたい。 ・担当課が課題としてあげているように、コロナ禍で健康面ばかりでなく経済面なども支援することが多くなると思う。これからも、各関連機関と連携して支援してほしい。		

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	次年度は3年任期の2年目であるが、今年度は計画通りに事業を実施できなかった。そのため、次年度も活動に必要な知識と技術の習得ができるように支援する。また、推進員同士の親睦を図りながら、活動意義を見出し、自主性を持って積極的に活動が行われるように支援する。研修会11回、普及活動19回を予定。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民が自主的に健康管理に努め、市民参加型の健康づくりを推進するため、地区組織である健康生活推進員の育成に努めます。健康生活推進員により、児童から高齢者までさまざまなライフステージを対象とした健康づくり料理教室、食育教室、運動教室、ウォーキング教室等を開催し、正しい健康知識の普及活動を積極的に行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・健康教室等の開催回数 年110回以上 ・健康教室等の参加者数 年1,100人以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①「グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり」を活動目標に、健康生活推進員としての知識と技術を習得する為の研修会を11回／年実施する。 ②新型コロナウイルス感染対策を行いながら、栄養ミニ知識と30分ウォーキング等の各種教室19回の普及活動をととして、習得した知識と技術を普及し、市民の健康づくりをサポートする。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①市民がより健康で元気になるための生活習慣病予防 ～グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり～を目標に、健康生活推進員としての知識と技術を身につける研修会を実施。(書面開催も含む)		①11回	①273人 (男57人、女216人)		
②普及活動として、ウォーキング教室、運動教室、栄養・ウォーキング教室、動画撮影を開催。(打合せや準備等も含む)		②54回	②参加者数106人 (男18人、女88人) 従事推進員数64人 (男49人、女190人)		
③市主催健康教室(健幸フライデー)への協力。(打合せや準備等も含む)		③5回	③従事推進員数16人 (男4人、女12人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・健康教室等の開催回数 26回 ・健康教室等の参加者数 391人					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
630		630		630	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍で中止とした回もあり、事業を計画どおりに実施することはできなかった。しかし、研修会はオンライン受講や動画の視聴、書面開催等を取り入れ、感染症対策を講じながら実施することができた。また、普及活動は、料理教室に代わり、栄養の講話とウォーキングを組み合わせた教室やレシピの動画配信などの新しい試みを行うことができた。結果的に、昨年度より多くの回数の事業を実施し、知識の習得と普及に取り組むことができた。 (課題・問題点) 参加者数は、昨年度よりも増加したが、男性の割合は下がってしまった。男性の参加を促す取組が必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	次年度は、3年任期の3年目であるが、今年度も計画どおりに事業を実施することができなかった。そのため、来年度も知識と技術の習得ができるよう、充実した内容の研修を計画する。また、推進員同士の親睦を図りながら、活動の意義を見出し、自主的な活動が行われるように支援する。研修会10回、普及活動21回を予定。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
コロナ禍においても、SNS等を使って事業を実施している。
(課題・問題点)
男性も参加しやすい工夫をされたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・コロナの影響で計画どおりには実施できない施策があったものの、研修会のオンライン実施、動画の視聴、書面開催等の工夫がおこなわれており、評価できる。
・コロナ禍の中、実施されているが、男性の参加が少ない。

改善策等の提言

・市民が意識的に健康づくりに参加するには、健康生活推進委員が積極的に地域社会の中で活動し、健康教室などの取り組みと健康生活推進委員の養成の行う必要がある。
・男性の参加を促す取組を具体的に進めていただきたい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	コロナ禍により、実施検討が必要とされる状況下ではあるが、実施可能な限りで取り組んでいく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	生涯スポーツの観点に立ち、市民誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努めます。開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女が共に参加しやすい機会の確保に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 年140回以上 ・スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 年8,000人
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①コロナ禍のため、事業実施についての検討を十分行った上で、できる限り茂原市スポーツ推進計画の基本理念「市民ひとり1スポーツ」に基づいた事業を開催し、年齢や性別を問わず誰もが気軽にスポーツを実施する機会を構築する。 ②競技性のあるスポーツに限らず、健康づくりや体力づくりを主とした事業を実施するため関係部署と連携を図る。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①スポーツ・レクリエーション教室等(ジュニアスポーツ教室1回、スーパーキッズ育成カレッジ4回)の開催。それ以外の教室、スポーツ大会等は、実施する方向で準備し、周知を行ったものもあったが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 ②自身の体力年齢を知り運動習慣につなげていくための体力・運動能力調査(大人のスポーツテスト)の実施。 ③自宅で手軽にできる運動(スポーツ庁)、普段より10分多く運動する「+10(プラステン)」「(厚生労働省)」を広報で紹介。また、パラスポーツに関するオンライン講習会(千葉県)、民間団体による誰でも参加しやすいスポーツイベント等についてのチラシの配付、SNSでの周知を行った。		①5回	①337人(男82人、女255人)		
		②1回	②13人(男11人、女2人)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 6回 ・スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 350人					
R3予算額(千円)		R3決算見込額			
8,127		3,104			
R3予算額		R4予算額			
8,127		7,525			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) スポーツ教室等、開催できないものが多い中、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いていた10～12月にかけて、小規模ではあるがいくつかの事業が実施できた。また、コロナ禍においても個々にできる運動方法の紹介等も行った。 (課題・問題点) 実施できた事業は数少ないため、年間を通してもう少し実施できる事業を検討する必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今年度実施できた事業に加え、他の事業について、このコロナ禍においてもできるだけ実施できる方策を検討していく。また、国や県の取組みや、民間のイベント等周知できるものは積極的に周知する。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)

開催回数の減少を補完するため、他の方法があったのではないか。

(課題・問題点)

実施回数を増やすだけでなく、SNS等の利用など新しい実施方法を検討されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
- ☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
- ☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・コロナの影響で施策の実現には制約があり、それでも、実施に向けた取り組みが行われ、また、チラシの配布やSNSで周知を行うなどの工夫が行われている点は評価できる。ただ、スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数・参加者数が目標とは大きく隔たっている。

・担当課として、問題点をとらえている。昨年度は、1回も開催できなかったが、今年度は工夫しながら教室を開催している。

改善策等の提言

・DO(実施)の③は、もっと多くの人に知ってもらえるように、広報での紹介のみでなく、いろいろなイベントで実施すると良いのではないかと思います。

・数値目標があまりにも高くて現実的ではないのではないかと考えられる。自己評価の「課題・問題点」で記されているように、年間を通して実施できるような現実的な事業を検討する必要があるのではないかと。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	安心して妊娠・出産するための支援	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(2) 安心して妊娠・出産できる環境づくり

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	引き続き、助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。また、令和2年度第三次補正予算により、県の費用助成が拡充されたため、幅広く費用助成を行いたい。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	産前産後サポートセンター(子育て世代包括支援センター)を中心に、安心して妊娠・出産・育児ができるように切れ目のない支援を行います。また、妊婦健康診査の自己負担金の一部助成のほか、子どもを望む家庭に対し不妊治療費の一部助成を行い、経済的な負担軽減を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・健やか親子21アンケート調査(乳児相談時)で「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と回答した市民の割合 91.5%以上 ・特定不妊治療費助成決定件数 年25件以上
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①妊娠届出時に助産師あるいは保健師が面接し、安心して妊娠・出産・子育てができるように切れ目のない支援を行う。 ②特定不妊治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。 ③男性不妊治療(精巣内精子回収術等)を必要とする方について、治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。 ④男性不妊検査に係る費用を1万円を上限として助成する。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)					
内容		回数	参加者数(男女別)		
①妊娠届出時の助産師あるいは保健師による全数面接:440件(推計) ②特定不妊治療費助成:56件(令和4年2月末助成決定件数) ③男性不妊治療費助成(精巣内精子改修術等)助成決定件数:0件(令和4年2月末助成決定件数) ④男性不妊検査費助成:5件(令和4年2月末助成決定件数) ※②～④については、広報もばら、市公式ウェブサイトにて制度の周知を行った。また、県の助成窓口である長生健康福祉センター(長生保健所)にチラシの設置をした。					
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・健やか親子21アンケート調査(乳児相談時)で「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と回答した市民の割合 91.4% ・特定不妊治療費助成決定件数 61件					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
4,570		12,297		11200	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ①については、助産師を8月より2名体制とし、よりきめ細やかな相談支援ができ、各種事業を活用し、切れ目のない支援ができている。②については、数値目標を達成できた。 (課題・問題点) 不妊に悩む夫婦が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることの無いよう、引き続き制度の周知を行う。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、助産師を2名体制とし、妊娠期よりきめ細やかな相談支援を行い、子どもを望む助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努め、安心して妊娠・出産・子育てができるように支援していく。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

- ☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠)

アンケート調査の91.4%が、今後もこの地域で子育てをしていきたいと回答しているので、評価できる。

(課題・問題点)

SNS等を利用した情報発信に更に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

- ☒ A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☐ B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

・男性不妊検査が増えており、少しずつ周知が広がっていると思われる。助産師が2名になったことで、よりきめ細やかな相談できたことは良かった。

・特定不妊治療費助成決定件数は61件と、目標の25件を大きく上回っている。また、アンケート調査結果も91.4%と極めて高い評価をえており、これは目標の91.5%に匹敵している。高い成果を得ているものと評価できる。

改善策等の提言

・大筋は、目標計画も設定も実態としては充分ではないが満たされている。助産婦の体制が2名であるというのは妥当なのかさらに増員の余地はないのか今後検討されたい。

・予算額を増やして支援を必要とする対象者に応えられるように検討されたい。

・若い世代への発信なので、推進委員が提言するように、SNS等を利用した情報発信を更に進めてほしい。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり

A C T (改善)	R2年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	・3回1コースで4コース実施(平日2コース、土曜日2コース)実施する。 1回目: 出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他 2回目: 沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパが行う臨月の重さ体験、パパ“力”アップミニ講座 他 3回目: 授乳・抱っこ・ふれあい遊び体験編…母乳育児・調乳(ミルク作り)体験、赤ちゃんの「泣き」について考えよう、先輩ママ・パパへ聞いてみよう 他 ・夫の参加しやすい土曜日にも教室を開催。夫婦間トラブルの予防に関する内容を継続し、次年度は防災や受動喫煙についても取り入れ、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していきたい。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	妊娠期から夫婦で積極的に健康管理・育児の知識の普及と技術を習得する機会を提供することで、出産後育児が不安なく行われ、愛情を持って子どもを養育できるよう「ママ・パパ教室」を実施します。開催にあたっては、父親も参加しやすいよう土曜日にも実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・ママ・パパ教室の初妊婦参加率 50% ・ママ・パパ教室のパートナー参加率 70%
	R3年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	母子保健法第9条により、市内在住の妊婦およびその家族に対し妊娠・出産・育児について正しい知識の普及を行う。 ①3回1コースで全4コース実施する(平日開催、土曜開催それぞれ2コースずつ)。 1回目: 出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他 2回目: 沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパ“力”アップミニ講座 他 3回目: 授乳・抱っこ・ふれあい遊び体験編…母乳育児・調乳(ミルク作り)体験、赤ちゃんの抱っこ・ふれあい遊び体験 他 ②令和元年度に4回目として実施していた内容を、3回目に盛り込む。また、防災や受動喫煙、夫婦間トラブルの予防に関する内容を取り入れ、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していく。

D
O
(実施)

R3年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入（添付書類 有・無）					
内容		回数	参加者数(男女別)		
○1コース3回で4コース実施 1回目: 出産準備編、2回目: 沐浴・妊婦体験編、3回目: 授乳・抱っこ・ふれあい遊び体験編 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 前年度のコロナ禍での教室開催状況をもとに、定員数を1回目12組・2回目8組・3回目9組に設定した。 前年度同様参加希望数は多く、どの回も定員を超えて申込みがあった。参加できない方には助産師相談で対応した。特に、2回目の希望者が多かった。 ○4コース目については、乳幼児の感染者数が多く、講義は動画を期間限定配信し、沐浴と調乳体験については、短時間で部屋を分散して実施した。		1・3コースは平日開催 2・4コースは土曜日開催	1回目: 42人(妊婦)、33人(夫) 2回目: 37人(妊婦)、33人(夫) 3回目: 29人(妊婦)、24人(夫)、1人(その他)		
R3年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・ママ・パパ教室の初妊婦参加率 24.2% ・ママ・パパ教室のパートナー参加率 83.3%					
R3予算額(千円)		R3決算見込額		R4予算額	
199		63		131	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	☐ A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上) ☒ B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) ☐ C: 事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染対策として、定員数を減らしたため、初妊婦参加率が目標値に届かなかったと考えられる。感染状況を考慮し、4コース目は教室内容を変更したが、動画配信や他事業への案内することで、満足度が高く、効果が得られたと評価できる。 (課題・問題点) 感染症対策として定員数を減らしているため、オンラインや動画配信、他事業への参加を提案するなど、希望者が自信をもって出産・育児に臨めるよう、定員を超えた希望者をフォローできる方法を増やしていきたい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	・3回1コースで4コース実施(平日2コース、土曜日2コース)実施する。 1回目: 出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他 2回目: 沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパが行う臨月の重さ体験、パパ“力”アップミニ講座 他 3回目: 授乳・抱っこ・ふれあい遊び体験編…母乳育児・調乳(ミルク作り)体験、赤ちゃんの「泣き」について考えよう、先輩ママ・パパへ聞いてみよう 他 ・次年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、緊急事態宣言中やまん延防止重点措置期間中は、講義は動画の期間限定配信、実技は沐浴体験と調乳・授乳の姿勢体験のみとし、短時間で少人数制で開催し、子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを妊娠期に構築できるよう支援していきたい。

CHECK (評価)

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☒ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☐ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

(評価の根拠)
コロナ禍においても、動画配信や他事業への案内などをしており、評価できる。
(課題・問題点)
参加者対象を広げたり、SNS等を利用し回数を増やすことを検討されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた
(達成度8割以上)
☒ B:ある程度の成果をあげた
(達成度4割～7割)
☐ C:事業の見直しが必要
(達成度3割以下)

・定員数を減らしたことで目標数値に届かなかったがパートナーの参加率が高かったので評価できる。
・動画配信や他事業への案内をするなどの工夫がみられる。

改善策等の提言

・ママ・パパ教室への初妊婦参加率が低いので、高くなるよう工夫されたい。
・感染症対策で定員数を減らしているのは仕方ないこと。回数を多くすることを検討して欲しい。
・コロナの様子をみながら教室の定員を元に戻すことを検討するとともに、周知の方法も工夫して、参加率を高めるよう努められたい。
・仕事の関係等で参加できなかった人たちへのフォローも大切にしてほしい。